

血液内科

レジメン名		R-CMD（CD20陽性悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫
解説	悪性リンパ腫に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		14日			
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1	
イリノテカン		25mg/m ²	90分で点滴	day 2 – 3 day 3	
ミトキサントロン		8mg/m ²	30分で点滴		
レジメン名				癌種	悪性リンパ腫
ブレンツキシマブ ベドチン					
解説	再発または難治性のCD30陽性ホジキンリンパ腫および未分化大細胞リンパ腫	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ブレンツキシマブ ベドチン		1.8mg/kg	30分で点滴	day1	
レジメン名				癌種	悪性リンパ腫
CODOX-M（レジメンA①）					
解説	高悪性度非ホジキンリンパ腫/バーキットリンパ腫の治療に、IVAC療法（レジメンB）と組み合わせて用いる。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考	CODOX-M（レジメンA）は①と②にレジメンを分割。	催吐リスク			
		高			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド①, ②		800, 200mg/m ²	2時間で点滴	day1, day2-5	
ビンクリスチン		1.5mg/m ²	10分で点滴	day1,8	
ドキシソルピシン		40mg/m ²	30分で点滴	day1	
メトトレキサート①, ②		536, 2461mg/m ²	1, 23時間	day10	
レジメン名				癌種	悪性リンパ腫
GDP					
解説	非ホジキンリンパ腫、ホジキンリンパ種の救済療法の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考		催吐リスク			
		高			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ゲムシタビン		1000mg/m ²	30分で点滴	day1,8	
シスプラチン		75mg/m ²	60分で点滴	day1	

レジメン名		FCR（R後）		癌種	悪性リンパ腫
解説	悪性リンパ腫に対する治療法の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
フルダラビン		25mg/m ²	30分で点滴	day1-3	
シクロホスファミド		1000mg/m ²	2時間で点滴	day1	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day4	

レジメン名		FCR（R先）		癌種	悪性リンパ腫
解説	悪性リンパ腫に対する治療法の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1	
フルダラビン		25mg/m ²	30分で点滴	day2-4	
シクロホスファミド		1000mg/m ²	2時間で点滴	day2	

レジメン名		GEM（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫
解説	膵癌、胆癌、膀胱癌、卵巣癌、悪性リンパ腫に対する化学療法 の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ゲムシタビン		1000mg/m ²	30分で点滴	day1,8,15	

レジメン名		THP-COP-E（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫
解説	高齢者における悪性リンパ腫に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考		催吐リスク	プレドニゾロン 30mg/body 経口分3（15-10-5） day1-5		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ピラルビシン		30mg/m ²	30分で点滴	day1	
シクロホスファミド		500mg/m ²	120分で点滴	day1	
ビンクリスチン		1mg/m ²	10分で点滴	day1	
エトポシド		80mg/m ²	120分で点滴	day1	

レジメン名		G+ACA		癌種	悪性リンパ腫
解説	CD20陽性慢性リンパ性白血病に対する治療。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考	アカラブルチニブ28日間投与後本レジメンを開始、最大6 サイクルまで。	催吐リスク	アカラブルチニブ：200mg/day 経口分2【連日】		
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
オビヌツズマブ		100mg/body	4時間で点滴	1Cday1	
オビヌツズマブ		900mg/body	4時間以上で点滴	1Cday2	
オビヌツズマブ		1000mg/body	195分以上で点滴	day8,15,2C目以降day1	

レジメン名	CMD（CD20陽性悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	悪性リンパ腫に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		14日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
イリノテカン		25mg/m ²	90分で点滴		day1,2
ミトキサントロン		8mg/m ²	30分で点滴		day3

レジメン名	大量MTX+Ara-C（中枢浸潤悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	中枢浸潤悪性リンパ腫のレジメン	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
メトトレキサート		500mg/m ²	15分で点滴		day1
メトトレキサート		3000mg/m ²	3時間で点滴		day1
シタラビン①		2000mg/m ²	1時間で点滴		day2,3
シタラビン②		2000mg/m ²	1時間で点滴 ②は①と12時間空ける		day2,3

レジメン名	MTX・ロイコボリン救援療法（6hr）（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	急性白血病、悪性リンパ腫に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
メトトレキサート		3500mg/m ²	6時間で点滴		day1

レジメン名	R+レナリドミド		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	再発又は難治性の濾胞性リンパ腫及び辺縁帯リンパ腫に対する治療法の一つ。	1コース	内服・その他内容 レナリドミド：20mg/body 経口分1 day1-21		
		28日			
		催吐リスク			
	6コース目以降レナリドミド単剤、最大12コース	最小			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴		1C目day1,8,15,22 2C目以降day1 C=コース

レジメン名	FND		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	悪性リンパ腫に対する標準的化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
フルダラビン		25mg/m ²	30分で点滴		day1-3
ミトキサントロン		10mg/m ²	30分で点滴		day1

レジメン名		脳脊髄腔（腰椎）注射（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫
解説 備考	急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、悪性リンパ腫の標準的治療の1つ。		1コース	内服・その他内容	
			1		
			催吐リスク		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
シタラビン		40mg/body		脳脊髄腔注	day1
メトトレキサート		15mg/body		脳脊髄腔注	day1

レジメン名		IVAC（レジメンB）		癌種	悪性リンパ腫
解説 備考	高悪性度非ホジキンリンパ腫/バーキットリンパ腫の治療に、CODOX-M療法（レジメンA）と組み合わせて用い		1コース	内服・その他内容	
			21日		
			催吐リスク 中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
シタラビン①		2000mg/m ²		2時間で点滴	day1
イホスファミド		1500mg/m ²		2時間で点滴	day1,3-5
エトポシド		60mg/m ²		2時間で点滴	day1,3-5
シタラビン②		2000mg/m ²		2時間で点滴	day1
メトトレキサート		15mg/body		髄注	day5

レジメン名		R-ベンダムスチン		癌種	悪性リンパ腫
解説 備考	高齢者における再発・難治性の低悪性度非ホジキンリンパ腫及びマントル細胞に対する化学療法。		1コース	内服・その他内容	
			28日		
			催吐リスク 中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²		2-3時間で点滴	day1
ベンダムスチン		120mg/m ²		60分で点滴	day2,3

レジメン名		CODOX-M（レジメンA②） day1,3髄注分		癌種	悪性リンパ腫
解説 備考	高悪性度非ホジキンリンパ腫/バーキットリンパ腫の治療に、IVAC療法（レジメンB）と組み合わせて用いる。		1コース	内服・その他内容	
			21日		
			催吐リスク 最小		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
シタラビン		40mg/body		髄注	day1,3
メトトレキサート		15mg/body		髄注	day15

レジメン名		R-THP-COP-E（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫
解説 備考	高齢者における悪性リンパ腫に対する化学療法。		1コース	内服・その他内容 プレドニゾロン 30mg/body 経口分3（15-10-5） day2-6	
			21日		
			催吐リスク 中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²		2-3時間で点滴	day1
ピラルビシン		30mg/m ²		30分で点滴	day2
シクロホスファミド		500mg/m ²		120分で点滴	day2
ビンクリスチン		1mg/m ²		10分で点滴	day2
エトポシド		80mg/m ²		120分で点滴	day2

レジメン名	ベンダムスチン（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	再発難治性悪性リンパ腫に対する新規薬剤治療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ベンダムスチン		120mg/m ²	1時間で点滴		day1,2

レジメン名	CHOP（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	非ホジキンリンパ腫に対する標準的化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		高	プレドニゾロン 100mg/body 経口分3（60-30-10） day1-5		
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ドキシソルピシン		50mg/m ²	30分で点滴		day1
シクロホスファミド		750mg/m ²	120分で点滴		day1
ビンクリスチン		1.4mg/m ²	10分で点滴		day1

レジメン名	ラニムスチン療法		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	膠芽腫、骨髄腫、悪性リンパ腫、慢性骨髄性白血病、真性多血症、本態性血小板増多症に対する治療法の1つ 次回の投与は血液所見の推移にしたがって6～8週後に行う。	1コース	内服・その他内容		
		42～56日			
		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ラニムスチン		50～90mg/m ²	60分（遮光）		day1

レジメン名	THP-COP（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	悪性リンパ腫に対する標準的化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		中	プレドニゾロン 100mg/body 経口分3（60-30-10） day1-5		
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ピラルピシン		50mg/m ²	30分で点滴		day1
シクロホスファミド		750mg/m ²	120分で点滴		day1
ビンクリスチン		1.4mg/m ²	10分で点滴		day1

レジメン名	エプコリタマブ療法		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	悪性リンパ腫に対し効果が認められているため	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		最小			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
エプコリタマブ（1コース目 day1）		0.16mg/body	皮下注		C1 day1
		0.8mg/body	皮下注		C1 day8
エプコリタマブ（1コース目 day8）		48mg/body	皮下注		C1day15,22,C2,3day1,8,15,22,C4-9day1,15,C10day1
エプコリタマブ（3回目以降）					

レジメン名		Moga+CHOP療法		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	CCR4陽性の成人T細胞白血病リンパ腫に対する化学療法。	1コース		内服・その他内容		
		14日		化学療法未治療の66歳以上または56-65歳（同種造血幹細胞移植の適応でない）が対象		
		催吐リスク		ポテリジオ開始30分-1時間前にアセトアミノフェン錠		
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ドキシソルピシン		50mg/m ²		30分で点滴		<1C-6C>day1
エンドキサン		750mg/m ²		120分で点滴		<1C-6C>day1
オンコビン		1.4mg/m ²		10分で点滴		<1C-6C>day1
ポテリジオ		1mg/kg		2時間で点滴		<1C>day2、<2-8C>day1

レジメン名		高齢者THP-COP（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	毒性を考慮した高齢者の悪性リンパ腫に対する汎用化学療法 法の1つ。	1コース		内服・その他内容		
		21日		プレドニゾロン 30mg/body 経口分3 day1-5		
		催吐リスク				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ピラルピシン		30mg/m ²		30分で点滴		day1
シクロホスファミド		500mg/m ²		180分で点滴		day1
ビンクリスチン		1.0mg/m ²		15分で点滴		day1

レジメン名		モスネツズマブ療法		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	再発又は難治性の濾胞性リンパ腫に対する化学療法。 8サイクル目終了時に完全奏功が得られた場合、投与を終了する。病勢安定または部分奏功が得られた場合、17サイ	1コース		内服・その他内容		
		21日		ジフェンヒドラミン塩酸塩錠10mg5錠、アセトアミノフェン錠300mg2錠内服。C3以降はC2までにCRSの発現がない場合、前投薬省略可。		
		催吐リスク				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ルンスミオ		1mg/body		240分		【C1day1】
ルンスミオ		2mg/body		240分		【C1day8】
ルンスミオ		60mg/body		240分、120-240分		【C1day15】 【C2】
ルンスミオ		30mg/body		120-240分		【C3以降】

レジメン名		CHASE（悪性リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	再発・難治悪性リンパ腫の救済療法。	1コース		内服・その他内容		
		21日				
		催吐リスク				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
シクロホスファミド		1200mg/m ²		2時間で点滴		day1
エトポシド		100mg/m ²		2時間で点滴		day1-3
シタラビン		2000mg/m ²		3時間で点滴		day2-3

レジメン名		CYVE		癌種	悪性リンパ腫	
解説 備考	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するレジメンの1つであるため	1コース		内服・その他内容		
		28日		エトポシドは60歳以上の患者で150mg/m ² に減量。高用量キロサイドは60歳以上の患者でday2-4に短縮。		
		催吐リスク				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
エトポシド		200mg/m ²		120分で点滴		day2-5
高用量キロサイド		2000mg/m ²		180分で点滴		day2-5
キロサイド		50mg/m ²		12時間で点滴		day1-5

レジメン名	メトトレキセート硝子体注射療法		癌種	悪性リンパ腫	
解説	原発性眼内悪性リンパ腫に対する治療法	1コース	内服・その他内容		
		コメント参照	適応外使用につき臨床倫理委員会承認済み		
備考	週2回投与を1ヶ月、その後週1回投与を1ヶ月、さらに月1回投与を8ヶ月継続する。	催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキセート		400μg/0.1mL/回	眼内注射	day1	

レジメン名	リツキシマブBS+イブルチニブ療法		癌種	悪性リンパ腫	
解説	原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫	1コース	内服・その他内容		
		28日	イブルチニブ1日1回朝食後420mgを連日内服。		
備考	リツキシマブは1～4週目及び17～20週目の第1日目に点滴静注	催吐リスク	イブルチニブは病勢増悪又は耐容不能な有害事象発現まで継続。		
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブBS		375mg/m ²	2-3時間	day1,8,15,22	

レジメン名	リツキシマブ+イブルチニブ療法		癌種	悪性リンパ腫	
解説	原発性マクログロブリン血症及びリンパ形質細胞リンパ腫	1コース	内服・その他内容		
		28日	イブルチニブ（イムブルビカカプセル140mg）1日1回朝食後420mgを連日内服。		
備考	リツキシマブは1～4週目及び17～20週目の第1日目に点滴静注	催吐リスク	食後420mgを連日内服。		
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1,8,15,22	

レジメン名	R-EPOCH（縦隔原発B細胞リンパ腫）		癌種	悪性リンパ腫	
解説	縦隔原発B細胞リンパ腫に対する治療法	1コース	内服・その他内容		
		21日	エトポシド、ドキソルビシン、シクロホスファミドの量は好中球又は血小板値により増減する。		
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク	は好中球又は血小板値により増減する。		
		高			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1	
エトポシド		50mg/m ²	24時間で点滴	day2-5	
ドキソルビシン		10mg/m ²			
ビンクリスチン		0.4mg/m ²			
シクロホスファミド		750mg/m ²	2時間で点滴	day6	

レジメン名	ABVD（ホジキンリンパ腫）		癌種	ホジキンリンパ腫	
解説	ホジキンリンパ腫に対する標準的化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		14日			
備考		催吐リスク			
		高			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ドキソルビシン		25mg/m ²	30分で点滴	day1	
ブレオマイシン		10mg/m ²	30分で点滴	day1	
ビンブラスチン		6mg/m ²	10分で点滴	day1	
ダカルバジン		250mg/m ²	120分で点滴	day1	

レジメン名	A+AVD		癌種	ホジキンリンパ腫
解説 備考	ホジキンリンパ腫に対する標準的化学療法。 最大6コース。	1コース	内服・その他内容	
		14日		
		催吐リスク 高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ドキシソルピシン		25mg/m ²	30分で点滴	day1,15
ビンブラスチン		6mg/m ²	10分で点滴	day1,15
ダカルバジン		375mg/m ²	120分で点滴	day1,15
ブレンツキシマブ ベドチン		1.2mg/kg	30分で点滴	day1,15

レジメン名	ペムプロリズマブ（ホジキンリンパ腫）		癌種	ホジキンリンパ腫
解説 備考	ホジキンリンパ腫の2次治療の標準治療のひとつ。	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク 最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ペムプロリズマブ		200mg/body	30分で点滴	day1

レジメン名	6週毎 ペムプロリズマブ（ホジキンリンパ腫）		癌種	ホジキンリンパ腫
解説 備考	ホジキンリンパ腫に対する二次治療のひとつ。	1コース	内服・その他内容	
		42日		
		催吐リスク 最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ペムプロリズマブ		400mg/body	30分で点滴	day1

レジメン名	4週毎 ニボルマブ（ホジキンリンパ腫）		癌種	ホジキンリンパ腫
解説 備考	再発難治性の古典的ホジキンリンパ腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク 最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ニボルマブ		480mg/body	30分で点滴	day1

レジメン名	リツキシマブ（ゼヴァリン前処置用）		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説 備考	1日目および7-9日目のゼヴァリン使用前に投与。	1コース	内服・その他内容	
		催吐リスク 最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		250mg/m ²	2-3時間で点滴	day1,7(8,9)

レジメン名	VNCOP-B（高齢者非ホジキンリンパ腫）		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説備考	高齢者非ホジキンリンパ腫の治療のひとつ。	1コース	内服・その他内容 プレドニゾロン 40mg/body 経口	
		56日		
		催吐リスク 中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ミトキサントロン		10mg/m ²	30分で点滴	day1,15,29,43
シクロホスファミド		300mg/m ²	2時間で点滴	day1,15,29,43
ビンクリスチン		2mg/body	10分で点滴	day8,22,36,50
エトポシド		150mg/m ²	2時間で点滴	day8,36
ブレオマイシン		10mg/m ²	30分で点滴	day22,50

レジメン名	DHAP		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説備考	非ホジキンリンパ腫の標準的な救援療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク 高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シスプラチン		100mg/m ²	24時間で点滴	day1
シタラビン①		2000mg/m ²	3時間で点滴	day2
シタラビン②		2000mg/m ²	3時間で点滴 ②は①と12時間空ける	day2

レジメン名	R-miniCHOP（CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫）		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説備考	高齢者の非ホジキンリンパ腫に対する標準的化学療法と分子標的治療薬の併用。	1コース	内服・その他内容 プレドニゾロン 40mg/m ² 経口 day2-6	
		21日		
		催吐リスク 高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
ドキシソルビシン		25mg/m ²	30分で点滴	day2
シクロホスファミド		400mg/m ²	120分で点滴	day2
ビンクリスチン		1mg/m ²	10分で点滴	day2

レジメン名	R-GEM（非ホジキンリンパ腫）		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説備考	非ホジキンリンパ腫の救援療法の1つと分子標的治療薬の併用。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク 軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ゲムシタビン		1000mg/m ²	30分で点滴	day1,8,15
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	1サイクル目day1,8,15,22 2サイクル目以降day1

レジメン名	MR-CHOP（CD20陽性非ホジキンリンパ腫）		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説備考	非ホジキンリンパ腫に対する標準的化学療法と分子標的治療薬の併用。	1コース	内服・その他内容 プレドニゾロン 100mg/body 経口分3（60-30-10） day2-6 ※65歳以上の場合、80%減量する。	
		21日		
		催吐リスク 高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
メトトレキサート		2000mg/m ² ※	3時間で点滴	day2
ドキシソルビシン		50mg/m ² ※	30分で点滴	day4
シクロホスファミド		750mg/m ² ※	120分で点滴	day4
ビンクリスチン		1.4mg/m ² ※	10分で点滴	day4

レジメン名	Biweekly CHOP		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説 備考	難治性非ホジキンリンパ腫に対する化学療法の一つ。	1コース	内服・その他内容	
		14日	プレドニゾン 100mg/body 経口分3（60-30-10）	
		催吐リスク	day1-5	
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ドキシソルピシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1
シクロホスファミド		750mg/m ²	120分で点滴	day1
ビンクリスチン		1.4mg/m ²	10分で点滴	day1

レジメン名	GCD		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説 備考	非ホジキンリンパ腫の救援療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ゲムシタビン		1000mg/m ²	30分で点滴	day1,8
カルボプラチン		AUC=5	60分で点滴	day1

レジメン名	R-DHAP		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説 備考	非ホジキンリンパ腫の標準的な救援療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
シスプラチン		100mg/m ²	24時間で点滴	day2
シタラビン①		2000mg/m ²	3時間で点滴	day3
シタラビン②		2000mg/m ²	3時間で点滴 ②は①と12時間空ける	day3

レジメン名	ESHAP		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説 備考	非ホジキンリンパ腫に対する標準的な救援療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
エトポシド		40mg/m ²	2時間で点滴	day1-4
シスプラチン①		12.5mg/m ²	12時間で点滴	day1-4
シスプラチン②		12.5mg/m ²	12時間で点滴	day1-4
シタラビン		2000mg/m ²	3時間で点滴	day5

レジメン名	R-GDP		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説 備考	非ホジキンリンパ腫の救援療法の1つと分子標的治療薬の併用。	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
ゲムシタビン		100mg/m ²	30分で点滴	day2,9
シスプラチン		75mg/m ²	60分で点滴	day2

レジメン名	R-CHOP（CD20陽性B細胞性非ホジキンリンパ腫）		癌種	非ホジキンリンパ腫
解説	非ホジキンリンパ腫に対する標準的化学療法と分子標的治療薬の併用。	1コース	内服・その他内容	
		21日	プレドニゾロン 100mg/body 経口分3（60-30-10）	
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク	day3-7	
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
ドキシソルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day2
シクロホスファミド		750mg/m ²	120分で点滴	day2
ビンクリスチン		1.4mg/m ²	10分で点滴	day2

レジメン名	VR-CAP		癌種	マントル細胞リンパ腫
解説	マントル細胞リンパ腫に対する治療	1コース	内服・その他内容	
		21日	プレドニゾロン 100mg/m ² 経口分3 day2-6	
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
ドキシソルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day2
シクロホスファミド		750mg/m ²	2時間で点滴	day2
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	dday2,5,9,12

レジメン名	プラトレキサート		癌種	末梢性T細胞リンパ腫
解説	再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫	1コース	内服・その他内容	
		49日		
備考	葉酸およびビタミンB12の投与を行う。	催吐リスク		
		最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
プラトレキサート		30mg/m ²	5分で点滴	day1,8,15,22,29,36

レジメン名	A+CHP		癌種	末梢性T細胞リンパ腫
解説	未治療のCD30陽性の末梢性T細胞リンパ腫(PTCL)に対する治療法の一つ。	1コース	内服・その他内容	
		21日	プレドニゾロン：100mg/body 経口分3 day1-5	
備考	最大8コース	催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ドキシソルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1
シクロホスファミド		750mg/m ²	120分で点滴	day1
ブレンツキシマブ ベドチン		1.8mg/kg	30分で点滴	day1

レジメン名	ロミデプシン		癌種	末梢性T細胞リンパ腫
解説	再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ロミデプシン		14mg/m ²	4時間で点滴	day1,8,15

レジメン名	R-MPV（中枢神経系原発悪性リンパ腫）		癌種	中枢神経系原発悪性リンパ腫
解説	中枢神経系原発悪性リンパ腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容	
		14日	塩酸プロカルバジン 100mg/m ² 経口 奇数コースのday2-8	
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク	8	
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
ビンクリスチン		1.4mg/m ²	10分で点滴	day2
メトトレキサート		3500mg/m ²	3時間で点滴	day2

レジメン名	MTX+MCNU+PCZ		癌種	中枢神経系原発悪性リンパ腫
解説	悪性リンパ腫に対する治療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		42日	塩酸プロカルバジン 60mg/m ² 経口分1 day1-7	
備考		催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ラニムスチン		40mg/m ²	60分で点滴	C1day1,10,20,C2-day1
メトトレキサート		1000mg/m ²	6時間で点滴	C1day1,10,20,C2-day1
メトトレキサート		15mg/body	髄注	C1day1,5,10,15,C2-day1
シタラビン		40mg/body	髄注	C1day1,5,10,15,C2-day1 (C=コース)

レジメン名	HD-AraC		癌種	中枢神経系原発悪性リンパ腫
解説	中枢神経系原発悪性リンパ腫においてR-MPV療法後の地固め療法として有効性が認められている。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考	R-MPV5コース施行後2コース実施する。	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
キロサイド		3000mg/m ²	3時間で点滴	day1-2

レジメン名	クラドリビン		癌種	ヘアリーセル白血病
解説	ヘアリーセル白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容	
		7日		
備考		催吐リスク		
		最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
クラドリビン		0.09mg/kg	24時間持続点滴	day1-7

レジメン名	短縮 オビヌツズマブ-ベンダムスチン		癌種	濾胞性リンパ腫
解説	CD20陽性の濾胞性リンパ腫に対する点滴短縮レジメン。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考	最大6コースまで。前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
オビヌツズマブ		1000mg/body	3-6時間程度で点滴	1コース目day1,8,15
オビヌツズマブ		1000mg/body	2-4時間程度で点滴	2コース目以降day1
ベンダムスチン		90mg/m ²	10分で点滴	day2,3

レジメン名	エブコリタマブ療法（3ステップ漸増法）		癌種	濾胞性リンパ腫
解説	再発又は難治性の濾胞性リンパ腫（Grade1～3A）に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容	
		28		
		催吐リスク		
備考		最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
エブコリタマブ		0.16mg/body	皮下注	C1day1
エブコリタマブ		0.8mg/body	皮下注	C1day8
エブコリタマブ		3mg/body	皮下注	C1day15
エブコリタマブ		48mg/body	皮下注	C1day22 C2,3day1,8,15, 22 C4-9day1,15

レジメン名	オビヌツズマブ-CHOP		癌種	濾胞性リンパ腫
解説	濾胞性リンパ腫に対する標準的化学療法と分子標的治療薬の併用。	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
備考	最大8コースまで。前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	高	プレドニゾン 100mg/body 経口分3（60-30-10）day2-6	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
オビヌツズマブ		1000mg/body	4-6時間程度で点滴	1コース目day1,8,15
オビヌツズマブ		1000mg/body	3-5時間程度で点滴	2コース目以降day1
ドキシソルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day2
シクロホスファミド		750mg/m ²	120分で点滴	day2
ビンクリスチン		1.4mg/m ²	10分で点滴	day2

レジメン名	オビヌツズマブ 単剤維持		癌種	濾胞性リンパ腫
解説	CD20陽性濾胞性リンパ腫に対する維持療法。	1コース	内服・その他内容	
		56日		
		催吐リスク		
備考	前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
オビヌツズマブ		1000mg/body	3-5時間程度で点滴	day1

レジメン名	オビヌツズマブ-ベンダムスチン		癌種	濾胞性リンパ腫
解説	再発難治性濾胞性リンパ腫に対する新規化学療法と分子標的治療薬の併用。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
備考	最大6コースまで。前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
オビヌツズマブ		1000mg/body	3-6時間程度で点滴	1コース目day1,8,15
オビヌツズマブ		1000mg/body	2-4時間程度で点滴	2コース目以降day1
ベンダムスチン		90mg/m ²	60分で点滴	day2,3

レジメン名	短縮 RB（DLBCL）		癌種	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
解説	再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する点滴時間短縮レジメン。	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
備考	最大6コースまで。前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1
ベンダムスチン		120mg/m ²	10分で点滴で点滴	day2-3

レジメン名	pola+R+CHP		癌種	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	
解説	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対するレジメン。最大6サイクル	1コース	内服・その他内容		
		21日	プレドニゾン 100mg/body 経口分3（60-30-10）		
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク	day2-6		
		高			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1	
ポラツズマブ ベドチン		1.8mg/kg	30-90分で点滴	day2	
ドキシソルピシン		50mg/m ²	30分で点滴	day2	
シクロホスファミド		750mg/m ²	120分で点滴	day2	

レジメン名	短縮 ポラツズマブ ベドチン+RB		癌種	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	
解説	再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する点滴時間短縮レジメン。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考	最大6コースまで。前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1	
ポラツズマブ ベドチン		1.8mg/kg	30-90分で点滴	day2	
ベンダムスチン		90mg/m ²	10分で点滴で点滴	day2-3	

レジメン名	ポラツズマブ ベドチン+RB		癌種	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	
解説	再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1	
ポラツズマブ ベドチン		1.8mg/kg	30-90分で点滴	day2	
ベンダムスチン		90mg/m ²	60分で点滴	day2-3	

レジメン名	RB（DLBCL）		癌種	びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	
解説	再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1	
ベンダムスチン		120mg/m ²	1時間で点滴	day2-3	

レジメン名	短縮ベンダムスチン（悪性リンパ腫）		癌種	B細胞性非ホジキンリンパ腫、マントル細胞性リンパ腫	
解説	低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫及びマントル細胞リンパ腫に対する点滴時間短縮レジメン	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ベンダムスチン		120mg/m ²	10分で点滴	day1,2	

レジメン名		短縮 R-ベンダムスチン（悪性リンパ腫）		癌種	B細胞性非ホジキンリンパ腫、マントル細胞性リンパ腫	
解説	低悪性度 B 細胞性非ホジキンリンパ腫及びマントル細胞リンパ腫に対する点滴時間短縮レジメン	1コース	内服・その他内容			
		28日				
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク				
		中				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
リツキシマブ ベンダムスチン		375mg/m ² 90mg/m ²		2-3時間で点滴 10分で点滴		day1 day2,3

レジメン名		脳脊髄腔（腰椎）注射（AML,ALL）		癌種	白血病	
解説	急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、悪性リンパ腫の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容			
		1				
備考		催吐リスク				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
シタラビン メトトレキサート		40mg/body 15mg/body		脳脊髄腔注 脳脊髄腔注		day1 day1

レジメン名		ビキセオス地固め療法		癌種	急性白血病	
解説	高リスク急性骨髄性白血病に対するレジメ	1コース	内服・その他内容			
		35日				
備考	地固め療法として最大2コースまで。寛解導入療法開始から5～8週間後に開始する	催吐リスク	(1U は ダウノルビシン44 mg シタラビン100mg含有)			
		中				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ビキセオス		65U/m ²		90分		day1,3

レジメン名		ビキセオス寛解導入療法		癌種	急性白血病	
解説	高リスク急性骨髄性白血病に対するレジメン	1コース	内服・その他内容			
		14日				
備考	寛解導入療法として最大2コースまで	催吐リスク	(1U は ダウノルビシン44 mg シタラビン100mg含有)			
		中				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ビキセオス（1コース目）		100U/m ²		90分		day1,3,5
ビキセオス（2コース目）		100U/m ²		90分		day1,3

レジメン名		mini MEC		癌種	急性白血病	
解説	再発・難治性急性白血病に対する汎用救済化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容			
		28日				
備考		催吐リスク				
		軽				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ミトキサントロン		8mg/m ²		30分で点滴		day1-3
エトポシド		100mg/m ²		3時間で点滴		day1-5
シタラビン		100mg/m ²		24時間持続点滴		day1-7

レジメン名	MTX・ロイコボリン救援療法（6hr）（白血病）		癌種	急性白血病
解説 備考	急性白血病、悪性リンパ腫に対する治療法。	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		3500mg/m ²	6時間で点滴	day1

レジメン名	【臨】 JALSG AML201 D群 地固め1コース目		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法。 高齢者へ使用する場合、投与量は30%減とし、投与日を1日短縮する。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ミトキサントロン		7mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5

レジメン名	【臨】 JALSG GML219 MIT+Ara-C 地固め C1		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病（AML）の地固め1コース目 65歳以上74歳以下	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ミトキサントロン(65-69歳)		7mg/m ²	30分で点滴	day1-3
ミトキサントロン(70-74歳)		5mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン①		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5
シタラビン②		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5

レジメン名	【臨】 JALSG GML219 DNR+Ara-C 寛解導入		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病（AML）の寛解導入療法 65歳以上74歳以下	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダウノルビシン(65-69歳)		45mg/m ²	30分で点滴	day1-3
ダウノルビシン(70-74歳)		35mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン①		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-7
シタラビン②		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-7

レジメン名	【臨】 JALSG GML200 高齢者AML 地固め3コース目		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	高齢者急性骨髄性白血病に対する治療法	1コース	内服・その他内容 年齢が70歳以上80歳未満の場合、アクリルビシンを10mg/m ² へ減量する。	
		28日		
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
エノシタビン		200mg/m ²	3時間で点滴	day1-5
アクリルビシン		14mg/m ²	30分で点滴	day1-5

レジメン名			【臨】 JALSG AML201 B群 寛解導入	癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法。		1コース	内服・その他内容	
			28日		
			催吐リスク		
			中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
ダウノルビシン		50mg/m ²		30分で点滴	day1-3
シタラビン		50mg/m ²		12時間で点滴	day1-7
シタラビン		50mg/m ²		12時間で点滴	day1-7
レジメン名			【臨】 JALSG GML200 高齢者AML B群 寛解導入	癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	高齢者急性骨髄性白血病に対する治療法		1コース	内服・その他内容	
			28日		
			催吐リスク		
			中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
エノシタピン		200mg/m ²		3時間で点滴	day1-8(※9-10,11-12)
ダウノルビシン		40mg/m ²		30分で点滴	day1-3(※8-9,11-12)
レジメン名			【臨】 JALSG AML201 C群 地固め	癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法。		1コース	内服・その他内容	
			28日		
			催吐リスク		
			中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
シタラビン		2000mg/m ²		3時間で点滴	day1-5
シタラビン		2000mg/m ²		3時間で点滴 (間隔は12時間空ける)	day1-5
レジメン名			low dose Ara-C+VP-16	癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	再発・難治性急性骨髄性白血病に対する救済化学療法の1つ。		1コース	内服・その他内容	
			28日		
			催吐リスク		
			軽		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
エトボシド		50mg/body		24時間で点滴	day1-14
シタラビン		20mg/body		24時間で点滴	day1-14
レジメン名			【臨】 JALSG GML219 DNR+Ara-C 地固め C2	癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病（AML）の地固め2コース目		1コース	内服・その他内容	
			21日		
			催吐リスク		
			中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
ダウノルビシン(65-69歳)		40mg/m ²		30分で点滴	day1-2
ダウノルビシン(70-74歳)		30mg/m ²		30分で点滴	day1-2
シタラビン①		50mg/m ²		12時間で点滴	day1-5
シタラビン②		50mg/m ²		12時間で点滴	day1-5

レジメン名	MEC（急性骨髄性白血病）		癌種	急性骨髄性白血病
解説	再発・難治性急性骨髄性白血病に対する汎用救済化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
備考		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
エトポシド		80mg/m ²	2時間で点滴	day1-6
シタラビン		1000mg/m ²	6時間で点滴	day1-6
ミトキサントロン		6mg/m ²	30分で点滴	day1-6

レジメン名	【臨】 JALSG AML 再寛解導入 s-HAM		癌種	急性骨髄性白血病
解説	毒性を考慮した急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
備考		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シタラビン①		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1,2,8,9
ミトキサントロン		10mg/m ²	30分で点滴	day3,4,10,11
シタラビン②		2000mg/m ²	3時間で点滴 ①と②は12時間空ける	day1,2,8,9

レジメン名	【臨】 JALSG GML200 高齢者AML 地固め1コース目		癌種	急性骨髄性白血病
解説	高齢者急性骨髄性白血病に対する治療法	1コース	内服・その他内容 ※年齢が70歳以上80歳未満の場合、ミトキサントロンを5mg/m ² に減量する。	
		28日		
		催吐リスク		
備考		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
エノシタビン		200mg/m ²	3時間で点滴	day1-5
ミトキサントロン		7mg/m ² ※	30分で点滴	day1-3

レジメン名	【臨】 JALSG AML201 D群 地固め2コース目		癌種	急性骨髄性白血病
解説	急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
備考	高齢者へ使用する場合、投与量は30%減とし、投与日を1日短縮する。	中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5

レジメン名	【臨】 JALSG GML200 高齢者AML 地固め2コース目		癌種	急性骨髄性白血病
解説	高齢者急性骨髄性白血病に対する治療法	1コース	内服・その他内容 ※年齢が70歳以上80歳未満の場合、ダウノルビシンを25mg/m ² に、エトポシドを75mg/m ² に減量する。	
		28日		
		催吐リスク		
備考		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
エトポシド		100mg/m ² ※	90分で点滴	day1-3
エノシタビン		200mg/m ²	3時間で点滴	day1-5
ダウノルビシン		30mg/m ² ※	30分で点滴	day1,2

レジメン名	GO		癌種	急性骨髄性白血病	
解説 備考	再発・難治性のCD33陽性の急性骨髄性白血病に対する治療法。 投与は2コースまで。	1コース	内服・その他内容		
		14日			
		催吐リスク 軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ゲムツズマブオゾガマイシン		9mg/m ²	2時間で点滴	day1	

レジメン名	【臨】 JALSG GML219 地固め C3 髄注		癌種	急性骨髄性白血病	
解説 備考	急性骨髄性白血病（AML）の地固め3コース終了後に行う。	1コース	内服・その他内容		
		催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート シタラビン プレドニゾロン		15mg/body 40mg/body 10mg/body	髄注 髄注 髄注		

レジメン名	Ara-C+ベネトクラクス		癌種	急性骨髄性白血病	
解説 備考	急性骨髄性白血病の治療として適応があるため。	1コース	内服・その他内容 ベネトクラクス 漸増期：100mg/b【day1】，200mg/b【day2】，400mg/b【day3】，600mg/b【day4】 維持期 600mg/b【day5-】 経口分1 (b=body)		
		28日			
		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		20mg/m ²	皮下注	day1-10	

レジメン名	【臨】 JALSG AML201 A群 寛解導入		癌種	急性骨髄性白血病	
解説 備考	急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
イダルビシン シタラビン シタラビン		12mg/m ² 50mg/m ² 50mg/m ²	30分で点滴 12時間で点滴 12時間で点滴	day1-3 day1-7 day1-7	

レジメン名	【臨】 JALSG AML201 D群 地固め4コース目		癌種	急性骨髄性白血病	
解説 備考	急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法。 高齢者へ使用する場合、投与量は30%減とし、投与日を1日短縮する。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
エトポシド シタラビン シタラビン ビンクリスチン ビンデシン		100mg/m ² 100mg/m ² 100mg/m ² 100mg/m ² 0.8mg/m ²	90分で点滴 12時間で点滴 12時間で点滴 全開 全開	day1-5 day1-5 day1-5 day8 day10	

レジメン名	アザシチジン点滴静注+ベネトクラクス（急性骨髄性白血病）		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病の治療として適応があるため。	1コース	内服・その他内容	
		28日	ベネトクラクス 漸増期：100mg/b【day1】，200mg/b【day2】，300mg/b【day3】，400mg/b【day4】 維持期 400mg/b【day5-】 経口分1 (b=body)	
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
アザシチジン		75mg/m ²	10分で点滴	day1-7

レジメン名	【臨】 JALSG AML201 D群 地固め3コース目		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病に対する汎用化学療法。 高齢者へ使用する場合、投与量は30%減とし、投与日を1日短縮する。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
アクリルピシン		20mg/m ²	30分で点滴	day1-5
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5

レジメン名	アザシチジン皮下注+ベネトクラクス（急性骨髄性白血病）		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病の治療として適応があるため。	1コース	内服・その他内容	
		28日	ベネトクラクス 漸増期：100mg/b【day1】，200mg/b【day2】，300mg/b【day3】，400mg/b【day4】 維持期 400mg/b【day5-】 経口分1 (b=body)	
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
アザシチジン		75mg/m ²	皮下注	day1-7

レジメン名	【臨】 JALSG APL212 地固め 4コース		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	再発・難治性のCD33陽性の急性骨髄性白血病に対する治療。	1コース	内服・その他内容	
		14日		
		催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ゲムツズマブオゾガマイシン		4mg/m ²	120分で点滴	day1

レジメン名	【臨】 JALSG GML219 ACR+Ara-C 地固め C3		癌種	急性骨髄性白血病
解説 備考	急性骨髄性白血病（AML）の地固め3コース目 3C終了後、血小板数10万/μLに回復次第髄注。	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
アクリルピシン(65-69歳)		16mg/m ²	30分で点滴	day1-5
アクリルピシン(70-74歳)		14mg/m ²	30分で点滴	day1-5
シタラビン①		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-5
シタラビン②		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-5

レジメン名	【臨】 JALSG APL212 寛解導入 D群 (A→D)		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	急性前骨髄球性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容	
		7日	治療前の末梢血白血球数およびAPL細胞数によりA,B,C群	
備考	A群施行時	催吐リスク	により治療を開始し、途中APL細胞数が増加した場合にD	
		中	群として追加療法を行う。	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-7
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-7

レジメン名	【臨】 JALSG APL212 寛解導入 D群 (B→D)		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	急性前骨髄球性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容	
		2日	治療前の末梢血白血球数およびAPL細胞数によりA,B,C群	
備考	B群施行時	催吐リスク	により治療を開始し、途中APL細胞数が増加した場合にD	
		中	群として追加療法を行う。	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴	day1
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-2
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-2

レジメン名	【臨】 JALSG APL212 寛解導入 D群 (C→D)		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	急性前骨髄球性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容	
		1日	治療前の末梢血白血球数およびAPL細胞数によりA,B,C群	
備考	C群施行時	催吐リスク	により治療を開始し、途中APL細胞数が増加した場合にD	
		中	群として追加療法を行う。	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴	day1

レジメン名	【臨】 JALSG APL212 地固め 1コース, 3コース		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	再発または難治性の急性前骨髄球性白血病に対しての治療法	1コース	内服・その他内容	
		35日		
備考		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
三酸化ヒ素		0.15mg/kg	120分で点滴	day1-5,8-12,15-19,22-26,29-33

レジメン名	【臨】 JALSG APL212 地固め 2コース		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	急性前骨髄球性白血病 (APL) の治療法	1コース	内服・その他内容	
		21日		
備考		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5
シタラビン		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5

レジメン名		【臨】 JALSG APL212 寛解導入 C群		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説 備考	急性前骨髄球性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		7日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴		day1-3
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴		day1-7
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴		day1-7

レジメン名		【臨】 JALSG APL212 寛解導入 B群		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説 備考	急性前骨髄球性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容		
		5日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴		day1-2
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴		day1-5
シタラビン		50mg/m ²	12時間で点滴		day1-5

レジメン名		APL 地固め 三酸化二ヒ素+ATRA		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説 備考	再発または難治性の急性前骨髄球性白血病に対しての治療法 4コース繰り返す	1コース	内服・その他内容 トレチノイン 45mg/m ² 経口分3 day1-15,29-43 4コース目はday1-15のみ投与とする。		
		56日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
三酸化二ヒ素		0.15mg/kg	120分で点滴		day1-5,8-12,15-19,22-26

レジメン名		【臨】 JALSG APL220 寛解導入 ATRA+ATO+IDA		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説 備考	急性前骨髄性白血病に対するATRA+ATO療法の多施設共同第Ⅱ相試験	1コース	内服・その他内容 トレチノイン 45mg/m ² 経口 分2 day1-60 プレドニゾロン 0.5mg/kg 経口 分1 day1-14 day7-14 で漸減し終了		
		60日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴		day1,2
三酸化二ヒ素		0.15mg/kg	120分で点滴		day5-60

レジメン名		【臨】 JALSG APL204 寛解導入 D群（IDR+Ara-C+ATRA		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説 備考	急性前骨髄性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容 トレチノイン 45mg/m ² 経口 分3		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴		day1-3
シタラビン①		50mg/m ²	12時間で点滴		day1-7
シタラビン②		50mg/m ²	12時間で点滴 ①と②は12時間空ける		day1-7

レジメン名	【臨】 JALSG APL220 地固め ATRA+ATO		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	急性前骨髄性白血病に対するATRA+ATO療法の多施設共同第Ⅱ相試験	1コース	内服・その他内容	
		C:56日 4C:28日	トレチノイン 45mg/m ² 経口 分2 C1-4day1-14,C1-3day29-42	
備考	中枢神経白血病予防のため地固め開始前に"髄注脳脊髄腔（腰椎）注射（悪性リンパ腫）"を実施する。	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
三酸化二ヒ素		0.15mg/kg	120分で点滴	Total 20day/4week※1

レジメン名	【臨】 JALSG APL205R 地固め		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	再発・難治性の急性前骨髄性白血病に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容	
		25日		
備考		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
三酸化二ヒ素		0.15mg/kg	120分で点滴	day1-25

レジメン名	【臨】 JALSG APL220 寛解導入 ATRA+ATO		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	急性前骨髄性白血病に対するATRA+ATO療法の多施設共同第Ⅱ相試験	1コース	内服・その他内容	
		60日	トレチノイン 45mg/m ² 経口 分2 day1-60	
備考		催吐リスク	プレドニゾロン 0.5mg/kg 経口 分1 day1-14 day7-14	
		中	で漸減し終了	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
三酸化二ヒ素		0.15mg/kg	120分で点滴	day1-60※1

レジメン名	【臨】 JALSG APL204 地固めC1		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	急性前骨髄性白血病（APL）の治療法	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考		催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ミトキサントロン		12mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン①		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5
シタラビン②		100mg/m ²	12時間で点滴 ①と②は12時間空ける	day1-5

レジメン名	【臨】 JALSG APL204 C群 寛解導入（IDR+Ara-C）		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説	成人急性前骨髄球性白血病に対する汎用化学療法。	1コース	内服・その他内容	
		28日	トレチノイン 45mg/m ² 経口 分3	
備考		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴	day1-3
シタラビン①		50mg/m ²	12時間で点滴	day1-7
シタラビン②		50mg/m ²	12時間で点滴 ①と②は12時間空ける	day1-7

レジメン名		【臨】 JALSG APL204 地固めC2		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説 備考	急性前骨髄性白血病（APL）の治療法	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1-3	
シタラビン①		100mg/m ²	12時間で点滴	day1-5	
シタラビン②		100mg/m ²	12時間で点滴 ①と②は12時間空ける	day1-5	

レジメン名		【臨】 JALSG APL204 地固めC3		癌種	急性前骨髄球性白血病
解説 備考	急性前骨髄性白血病（APL）の治療法	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
イダルビシン		12mg/m ²	30分で点滴	day1-3	
シタラビン①		70mg/m ²	12時間で点滴	day1-5	
シタラビン②		70mg/m ²	12時間で点滴 ①と②は12時間空ける	day1-5	

レジメン名		Hyper-CVAD 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	毒性を考慮した急性リンパ性白血病に対する汎用化学療法 の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		12mg/body	髄注	day2	
シタラビン		70mg/body	髄注	day8	

レジメン名		【臨】 JALSG B-ALL97 レジメンB（コース2,4,6）		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	JALSG 成人急性リンパ性白血病治療プロトコール	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
	JALSG B-ALL97 髄注のレジメンと併用する。	中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		200mg/m ²	60分で点滴	day1-5	
メトトレキサート①		100mg/m ²	120分で点滴	day1	
メトトレキサート②		400mg/m ²	22時間で点滴	day1	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day2	
エトポシド		100mg/m ²	60分で点滴	day2-5	

レジメン名		【臨】 JALSG ALL202-O 地固め3コース目		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
		42日			
		催吐リスク			
	day1,29に脳脊髄腔注射を行う。	中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15	
ドキソルビシン		30mg/m ²	1時間で点滴	day1,8,15	
シクロホスファミド		100mg/m ²	3時間で点滴	day29	
シタラビン		75mg/m ²	1時間で点滴	day29-33,36-40	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL213 強化地固め		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	Ph+急性リンパ性白血病に対する強化地固め療法。	1コース	内服・その他内容		
		38日	ダサチニブ 100mg/day 経口分1 day4-31		
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		1200mg/m ²	3時間で点滴	day1	
ダウノルビシン		45mg/m ²	1時間で点滴	day1-3	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15,22	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	
レジメン名		【臨】 JALSG ALL202-O 寛解導入 25歳以上60歳未満		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	25歳以上60歳未満のALL患者に対する治療プロトコール。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		1200mg/m ²	3時間で点滴	day1	
ダウノルビシン		60mg/m ²	1時間で点滴	day1-3	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15,22	
L-アスパラギナーゼ		3000K.U./m ²	2時間で点滴	day9,11,13,16,18,20	
レジメン名		【臨】 JALSG ALL202-O 寛解導入 60歳以上		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	60歳以上のALL患者に対する治療プロトコール。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		800mg/m ²	3時間で点滴	day1	
ダウノルビシン		30mg/m ²	1時間で点滴	day1-3	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15,22	
L-アスパラギナーゼ		3000K.U./m ²	2時間で点滴	day9,11,13,16,18,20	
レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL213 地固めC1		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	Ph+急性リンパ性白血病の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		31日	ダサチニブ 100mg/day 経口分1 day4-24		
	JALSG Ph+ALL213地固めC1（髄注）のレジメンと併用する。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		100mg/m ²	1時間で点滴	day1	
メトトレキサート		900mg/m ²	23時間で点滴	day1	
シタラビン①		2000mg/m ²	3時間で点滴		
シタラビン②		2000mg/m ²	3時間で点滴 ②は①と12時間空ける		
レジメン名		【臨】 JALSG ALL202 地固め1コース目 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	ALL地固め療法 1 コース目 day1に行う髄注	1コース	内服・その他内容		
		催吐リスク			
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	

レジメン名		Hyper-CVAD 1,3,5,7コース		癌種	急性リンパ性白血病
解説	毒性を考慮した急性リンパ性白血病に対する汎用化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考	Hyper-CVAD 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク			
		高			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド①		300mg/m ²	3時間で点滴	day1-3	
ビンクリスチン		2mg/body	10分で点滴	day4,11	
ドキソルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day4	
シクロホスファミド②		300mg/m ²	3時間で点滴 ②は①と12時間空ける	day1-3	

レジメン名		【臨】 JALSG ALL202-O 地固め2コース目（B）		癌種	急性リンパ性白血病
解説	急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日	メルカプトプリン水和物 25mg/m ² 経口 分1 day1-21		
備考		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15	
メトトレキサート①		100mg/m ²	2時間で点滴	day1,15	
メトトレキサート②		400mg/m ²	22時間で点滴	day1,15	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,15	

レジメン名		Hyper-CVAD 2,4,6,8コース		癌種	急性リンパ性白血病
解説	毒性を考慮した急性リンパ性白血病に対する汎用化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考	Hyper-CVAD 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート①, ②		200, 800mg/m ²	2, 24時間で点滴	day1	
シタラビン①		3000mg/m ²	3時間で点滴	day2-3	
シタラビン②		3000mg/m ²	3時間で点滴 ①と②は12時間空ける	day2-3	

レジメン名		【臨】 JALSG ALL202-O 地固め3コース目 脳脊髄腔注		癌種	急性リンパ性白血病
解説	急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
		42日			
備考	day1,29に脳脊髄腔注射を行う。	催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		40mg/body	脳脊髄腔注	day1,29	
メトトレキサート		15mg/body	脳脊髄腔注	day1,29	

レジメン名		【臨】 JALSG B-ALL97 PREFASE		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JALSG成人急性リンパ性白血病治療プロトコール	1コース	内服・その他内容		
		5日	プレドニゾン 100mg/body 経口分3（60-30-10）		
備考		催吐リスク	day1-5		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		200mg/m ²	60分で点滴	day1-5	

レジメン名	【臨】 JALSG B-ALL97 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	JALSG 成人急性リンパ性白血病治療プロトコール	1コース	内服・その他内容	
		催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1 (コース2,3はday1,5)
レジメン名	【臨】 JALSG ALL202-U 地固め 15歳以上25歳未満 6-9w		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	急性リンパ性白血病に対する地固め療法	1コース	内服・その他内容	
		28日		
	ALL202-U 6-9w 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		750mg/m ²	60分で点滴	day1,8
ピラルビシン		25mg/m ²	60分で点滴	day1,2
シタラビン		75mg/m ²	60分で点滴	day1-6,8-13
レジメン名	【臨】 JALSG Ph+ALL208 IMA 地固め1 60-64歳		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病に対する汎用化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
	JALSG Ph+ALL208 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		100mg/m ²	1時間で点滴	day1
メトトレキサート		900mg/m ²	23時間で点滴	day1
シタラビン①		1000mg/m ²	3時間で点滴	day2,3
シタラビン②		1000mg/m ²	3時間で点滴 ②は①と12時間空ける	day2,3
レジメン名	【臨】 JALSG Ph+ALL208 IMA 地固め2 15-64歳		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	Ph+急性リンパ性白血病に対する地固め療法。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
	JALSG Ph+ALL208 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		1200mg/m ²	3時間で点滴	day1
ダウノルビシン		60mg/m ²	1時間で点滴	day1
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1
レジメン名	【臨】 JALSG Ph+ALL208 IMA 地固め (髄注)		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	Ph+急性リンパ性白血病に対する地固め療法。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
	JALSG Ph+ALL208のレジメンと併用する。	催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1
シタラビン		40mg/body	髄注	day1

レジメン名	【臨】 ALL202-O 地固め2コース目 (A)		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容	
		21日	メルカプトプリン水和物 25mg/m ² 経口 分1 day1-21	
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15
メトトレキサート		3000mg/m ²	24時間で点滴	day1,15
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,15

レジメン名	【臨】 JALSG ALL202 地固め1コース目		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容	
		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シタラビン①		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-3
エトポシド		100mg/m ²	60分で点滴	day1-3
シタラビン②		2000mg/m ²	3時間で点滴 ②は①と12時間空ける	day1-3

レジメン名	【臨】 JALSG ALL202-U 寛解導入 15歳以上25歳未満 1-5		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	急性リンパ性白血病に対する寛解導入法	1コース	内服・その他内容	
		35日	プレドニゾロン 60mg/m ² 経口 分2 day1-7	
		催吐リスク		
	ALL202-U 1-5w 髄注のレジメンと併用する。	中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		12mg/body	髄注	day1
ビンクリスチン		1.5mg/m ²	10分で点滴	day8,15,22,29
ピラルピシン		25mg/m ²	60分で点滴	day8,9
シクロホスファミド		1200mg/m ²	60分で点滴	day10

レジメン名	【臨】 JALSG ALL202-U 1-5w 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	急性リンパ性白血病に対する寛解導入法	1コース	内服・その他内容	
		35日		
		催吐リスク		
	初診時中枢神経病変陽性の場合にday11,15を施行する。			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		12mg/body	髄注	day8,(11,15),22
シタラビン		30mg/body		
ヒドロコルチゾン		25mg/body		

レジメン名	【臨】 JALSG B-ALL97 レジメンA (コース1,3,5)		癌種	急性リンパ性白血病
解説 備考	JALSG 成人急性リンパ性白血病治療プロトコール	1コース	内服・その他内容	
		21日		
		催吐リスク		
	JALSG B-ALL97 髄注のレジメンと併用する。	高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		200mg/m ²	60分で点滴	day1-5
メトトレキサート①		100mg/m ²	120分で点滴	day1
メトトレキサート②		400mg/m ²	22時間で点滴	day1
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day2
ドキシソルピシン		50mg/m ²	3時間で点滴	day5

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 P-B1		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
備考	Ph+ALLに対する地固めP-B1 ponatinib + Ara-C 大量療法 (16-55歳)	催吐リスク	30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ：30mg/body 分1 MRD陰性確認でき次第、		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-4	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C2C5 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する地固め療法(髄注)。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考	JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C2C5のレジメンと併用する。	催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,15	
シタラビン		40mg/body	髄注	day1,15	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 D-C1(C2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	ダサチニブ：100mg/body 分1 day1-		
備考	Ph+ALLに対する地固めD-C1(C2) dasatinib + MTX 大量療法 (16-55歳)	催吐リスク	増悪時：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
		中	30mg/body 分1 day15- MRD陰性確認でき次第：		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ピンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15	
メトトレキサート		200mg/m ²	30分で点滴	day1,15	
メトトレキサート		1800mg/m ²	23.5時間で点滴	day1,15	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,15	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1,15	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 D-B1(B2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	ダサチニブ：100mg/body 分1 day1-		
備考	Ph+ALLに対する地固めD-B1(B2) dasatinib + Ara-C 大量療法 (16-55歳)	催吐リスク	増悪時：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
		中	30mg/body 分1 day15- MRD陰性確認でき次第：		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-4	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL213 寛解導入		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		42日	プレドニゾロン 60mg/m ² 経口分3 day1-21(22-28で漸減)		
備考		催吐リスク	30mg/m ² day22-23, 15mg/m ² day24-25, 5mg/m ²		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	脳脊髄腔注射（腰椎）	day22	
デキサメタゾン		3.3mg/body	脳脊髄腔注射（腰椎）	day22	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 56-65歳 P-D		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	プレドニゾン：60mg/m ² 経口分3 day1-7 以降漸減		
備考	Ph+ALLに対する地固めP-D ponatinib + DNR-COP 療法 (56-65歳)	催吐リスク	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
		中	30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1	
シクロホスファミド		500mg/m ²	60分で点滴	day1	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL213 地固めC1（髄注）		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		31日			
備考	JALSG Ph+ALL213地固めC1のレジメンと併用する。	催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	脳脊髄腔注射（腰椎）	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	脳脊髄腔注射（腰椎）	day1	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 56-65歳 P-B1		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
備考	Ph+ALLに対する地固めP-B1 ponatinib + Ara-C 大量療法 (56-65歳)	催吐リスク	30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ		
		中	ブ：30mg/body 分1 MRD陰性確認でき次第、		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		1500mg/m ²	3時間で点滴	day1-4	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-65歳 P-M		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	プレドニゾン：60mg/m ² 経口分3 day1-5 以降漸減		
備考	Ph+ALLに対する維持P-M (16-65歳)	催吐リスク	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
		最小	30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 P-B2		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
備考	Ph+ALLに対する地固めP-B2 ponatinib + Ara-C 大量療法 (16-55歳)	催吐リスク	30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ		
		中	ブ：30mg/body 分1 MRD陰性確認でき次第、		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-4	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 D-M		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-5 以降漸減		
備考	Ph+ALLに対する維持D-M (16-65歳)	催吐リスク	ダサチニブ：100mg/body 分1 day1-		
		最小	増悪時：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 P-C1(C2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
備考	Ph+ALLに対する地固めP-C1(C2) ponatinib + MTX 大量療法 (16-55歳)	催吐リスク	30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ：30mg/body 分1 MRD陰性確認でき次第、		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15	
メトトレキサート		200mg/m ²	30分で点滴	day1,15	
メトトレキサート		1800mg/m ²	23.5時間で点滴	day1,15	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,15	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1,15	

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 56-65歳 D-B1(B2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	ダサチニブ：100mg/body 分1 day1-		
備考	Ph+ALLに対する地固めD-B1(B2) dasatinib + Ara-C 大量療法 (56-65歳)	催吐リスク	増悪時：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
		中	30mg/body 分1 day15- MRD陰性確認でき次第：		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		1500mg/m ²	3時間で点滴	day1-4	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JSCT ステロイド プリフェイス用髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説	急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
			プレドニゾロン 60mg/m ² 経口分3 day1-7		
備考		催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL219 維持		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病に対する維持療法。	1コース	内服・その他内容		
		28日	プレドニゾロン：60mg/m ² 経口分3 day1-7(8-14で漸減) 30mg/m ² day8-9 15mg/m ² day10-11 5mg/m ² day12-14		
備考		催吐リスク			
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL219 地固め C2		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病に対する地固め療法。	1コース	内服・その他内容		
		29日	プレドニゾン：60mg/㎡ 経口分3 day1-14(15-21で		
備考	JALSG PH+ALL219 地固め C1C2髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク	漸減) 30mg/㎡ day15-16 15mg/㎡ day17-18 5mg/㎡ day19-21		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		1200mg/㎡	3時間で点滴	day1	
ダウノルビシン		45mg/㎡	1時間で点滴	day1	
ビンクリスチン		1.3mg/㎡	10分で点滴	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL219 地固め C1C2 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病の標準的治療の髄注。	1コース	内服・その他内容		
		31日			
備考	JALSG PH+ALL219 地固め C1またはC2のレジメンと併用する。	催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL219 地固め C1		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		31日			
備考	JALSG PH+ALL219 地固め C1 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		100mg/㎡	1時間で点滴	day1	
メトトレキサート		900mg/㎡	23時間で点滴	day1	
シタラビン①		2000mg/㎡	3時間で点滴	day2,3	
シタラビン②		2000mg/㎡	3時間で点滴 ②は①と12時間空ける	day2,3	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL219 強化地固め		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病に対する強化地固め療法。	1コース	内服・その他内容		
		38日	プレドニゾン：60mg/㎡ 経口分3 day1-14(15-21で		
備考		催吐リスク	漸減) 30mg/㎡ day15-16 15mg/㎡ day17-18 5mg/㎡ day19-21		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		1200mg/㎡	3時間で点滴	day1	
ダウノルビシン		45mg/㎡	1時間で点滴	day1-3	
ビンクリスチン		1.3mg/㎡	10分で点滴	day1,8,15,22	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL219 プリフェーズ+寛解導入		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病に対する寛解導入療法。	1コース	内服・その他内容		
		28日	プレドニゾン 60mg/㎡ 経口分3 先行投与7日		
備考		催吐リスク	プレドニゾン 60mg/㎡ 経口分3 day1-14(15-21で漸減)		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	プレドニゾン開始後 7日以内	

レジメン名	【臨】 JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C3 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する地固め療法(髄注)。	1コース	内服・その他内容	
		42日		
備考	JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C3のレジメンと併用する。	催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,29
シタラビン		40mg/body	髄注	day1,29

レジメン名	【臨】 JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C3		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する地固め療法。	1コース	内服・その他内容	
		42日		
備考	JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C3 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク	デキサメタゾン 10mg/m ² 経口分1 day1-8,15-22 メルカプトプリン 60mg/m ² 経口分1 day29-42	
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダウノルビシン		45mg/m ²	1時間で点滴	day1,8,15
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15
L-アスパラギナーゼ		5000K.U./m ²	4時間で点滴	day2,4,6,9,11,13
シクロホスファミド		1200mg/m ²	3時間で点滴	day29
シタラビン		75mg/m ²	1時間で点滴	day29-33,36-40

レジメン名	【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 P-D		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコルの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考	Ph+ALLに対する地固めP-D ponatinib + DNR-COP 療法 (16-55歳)	催吐リスク	プレドニゾロン：60mg/m ² 経口分3 day1-7 以降漸減 MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14 30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニ	
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1
シクロホスファミド		1000mg/m ²	60分で点滴	day1
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 36-55歳 A-1(A-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコルの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考	Ph-ALLに対する寛解導入療法A1 (36-55歳)	催吐リスク	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-20 以降漸減	
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		1000mg/m ²	60分で点滴	day1
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1-3
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15,22
L-アスパラギナーゼ		3000K.U./m ²	4時間で点滴	day9,11,13,16,18,20

レジメン名	【臨】 JPLSG-ALL-T19 再寛解導入療法(IIB)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	血液腫瘍分科会の臨床研究 B前駆細胞性急性リンパ性白血病に対する再寛解導入療法	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考	JPLSG-ALL-B19 (髄注) のレジメンと併用する。	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		1000mg/m ²	60分で点滴	day1
シタラビン		75mg/m ²	全開で点滴	day3-6,10-13

レジメン名	【臨】 JPLSG-ALL-B19 再寛解導入療法(IIA)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	血液腫瘍分科会の臨床研究 B前駆細胞性急性リンパ性白血	1コース	内服・その他内容	
説明	血病に対する再寛解導入療法	35日	L-アスパラギナーゼは40-64歳で6000U/㎡に減量	
備考	JPLSG-ALL-B19 (髄注) のレジメンと併用する。	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ドキシソルピシン		30mg/㎡	60分で点滴	day8,15,22,29
ビンクリスチン		1.5mg/㎡	10分で点滴	day8,15,22,29
L-アスパラギナーゼ		10000U/㎡	筋注	day8,11,15,18
レジメン名	JPLSG-ALL-B19 寛解導入法 (IA2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	血液腫瘍分科会の臨床研究 B前駆細胞性急性リンパ性白血	1コース	内服・その他内容	
説明	血病に対する寛解導入	28日	髄注 【day5,26】 (CNS2はday11,20を追加)	
備考		催吐リスク	・ PSL (内服) : 60mg/㎡ 分3 【day1-21】 day22	
		中	以降は30→15→7.5mg/㎡で漸減中止	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダウノマイシン		30mg/㎡	60分で点滴	day1,8
ビンクリスチン		1.5mg/㎡ (max:2mg)	10分で点滴	day1,8,15,22
ロイナーゼ : 5000U/㎡			筋注	day5,8,11,14,17,20,23,26
レジメン名	【臨】 JPLSG Ph- 16-35歳 B-1(B-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療	1コース	内服・その他内容	
説明	プロトコルの1つ。	28日		
備考	Ph-ALLに対する地固めB-1(B-2) Ara-C 大量療法 (16-35歳)	催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シタラビン		2000mg/㎡	3時間で点滴	day1-4
ミトキサントロン		10mg/㎡	30分で点滴	day2,3
L-アスパラギナーゼ		10000K.U./㎡	4時間で点滴	day5
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1
レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 56-65歳 M-1		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療	1コース	内服・その他内容	
説明	プロトコルの1つ。	28日	メルカプトプリン : 30mg/㎡ 分1 day1-	
備考	Ph-ALLに対する寛解導入療法A2 (56-65歳)	催吐リスク	メトトレキサート : 20mg/㎡ 週1	
		最小	プレドニゾロン : 60mg/㎡ 分3 day1-5	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/㎡	10分で点滴	day1
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./㎡	筋注	day1
レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 36-55歳 C-1(C-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療	1コース	内服・その他内容	
説明	プロトコルの1つ。	28日	【髄注】	
備考	Ph-ALLに対する地固めC-1(C-2) CNS予防 (56-65歳)	催吐リスク	メトトレキサート : 15mg/body 髄注 day1,15	
		中	デキサメタゾン : 3.3mg/body 髄注 day1,15	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/㎡	10分で点滴	day1,15
メトトレキサート		150mg/㎡	30分で点滴	day1,15
メトトレキサート		1350mg/㎡	23.5時間で点滴	day1,15
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./㎡	4時間で点滴	day2,16

レジメン名		【臨】 JSCT Ph- 56-65歳 B-1(B-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
備考	Ph-ALLに対する地固めB-1(B-2) Ara-C 大量療法 (56-65歳)	中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		1500mg/m ²	3時間で点滴	day1-4	
ミトキサントロン		7mg/m ²	30分で点滴	day2,3	
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./m ²	4時間で点滴	day5	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	
レジメン名		【臨】 JSCT Ph- 56-65歳 A-1(A-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-20 以降漸減		
		催吐リスク			
備考	Ph-ALLに対する寛解導入療法A1 (56-65歳)	中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		500mg/m ²	60分で点滴	day1	
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1-3	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15,22	
L-アスパラギナーゼ		3000K.U./m ²	4時間で点滴	day9,11,13,16,18,20	
レジメン名		【臨】 JSCT Ph- 36-55歳 M-1		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	メルカプトプリン：40mg/m ² 分1 day1-		
		催吐リスク	メトトレキサート：20mg/m ² 週1		
備考	Ph-ALLに対する維持療法M-1 (36-55歳)	最小	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-5		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1	
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./m ²	筋注	day1	
レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 16-55歳 D-D		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-7 以降漸減		
		催吐リスク	ダサチニブ：100mg/body 分1 day1-		
備考	Ph+ALLに対する地固めD-D dasatinib + DNR-COP 療法 (16-55歳)	中	増悪時：パナチニブ：45mg/body 分1 day1-14		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1	
シクロホスファミド		1000mg/m ²	60分で点滴	day1	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	
レジメン名		【臨】 JSCT Ph- 36-55歳 B-1(B-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
備考	Ph-ALLに対する地固めB-1(B-2) Ara-C 大量療法 (36-55歳)	中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-4	
ミトキサントロン		10mg/m ²	30分で点滴	day2,3	
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./m ²	4時間で点滴	day5	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1	

レジメン名	【臨】 JSCT Ph+ 56-65歳 P-C1(C2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14	
備考	Ph+ALLに対する地固めP-C1(C2) ponatinib + MTX 大量療法 (56-65歳)	催吐リスク	30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ：30mg/body 分1 MRD陰性確認でき次第、	
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15
メトトレキサート		150mg/m ²	30分で点滴	day1,15
メトトレキサート		1350mg/m ²	23.5時間で点滴	day1,15
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,15
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1,15

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 16-65歳 45kg以上		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		43日		
備考	Ph-ALLに対するブリナツモマブ療法体重45kg以上(16-65歳)	催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/body	髄注	1Cday1,2Cday29
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	
ブリナツモマブ		9μg/m ²	24時間で点滴	1Cday2-8
ブリナツモマブ		28μg/m ²	24時間で点滴	1Cday9-29,2Cday1-28 C=コース

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 16-65歳 45kg未満		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		43日		
備考	Ph-ALLに対するブリナツモマブ療法体重45kg未満(16-65歳)	催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/body	髄注	1Cday1,2Cday29
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	
ブリナツモマブ		5μg/m ²	24時間で点滴	1Cday2-8
ブリナツモマブ		15μg/m ²	24時間で点滴	1Cday9-29,2Cday1-28 C=コース

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 16-35歳 M-1		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	メルカプトプリン：50mg/m ² 分1 day1-	
備考	Ph-ALLに対する維持療法M-1 (16-35歳)	催吐リスク	メトトレキサート：20mg/m ² 週1	
		最小	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-5	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1
L-アスパラギナーゼ		10000K.U./m ²	筋注	day1

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 16-35歳 A-2		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-20 以降漸減	
備考	Ph-ALLに対する寛解導入療法A2 (16-35歳)	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		1000mg/m ²	60分で点滴	day1
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1-3
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15,22
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./m ²	4時間で点滴	day9,11,13,16,18,20

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 16-35歳 C-1(C-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	【髄注】	
備考	Ph-ALLに対する地固めC-1(C-2) CNS予防 (16-35歳)	催吐リスク	メトトレキサート：15mg/body 髄注 day1,15	
		中	デキサメタゾン：3.3mg/body 髄注 day1,15	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15
メトトレキサート		300mg/m ²	30分で点滴	day1,15
メトトレキサート		2700mg/m ²	23.5時間で点滴	day1,15
L-アスパラギナーゼ		10000K.U./m ²	4時間で点滴	day2,16

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 16-35歳 B-1(B-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考	Ph-ALLに対する地固めB-1(B-2) Ara-C 大量療法 (16-35歳)	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シタラビン		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-4
ミトキサントロン		10mg/m ²	30分で点滴	day2,3
L-アスパラギナーゼ		10000K.U./m ²	4時間で点滴	day5
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 16-35歳 A-1		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-20 以降漸減	
備考	Ph-ALLに対する寛解導入療法A1 (16-35歳)	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		1000mg/m ²	60分で点滴	day1
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1-3
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,8,15,22

レジメン名	【臨】 JSCT Ph+ 56-65歳 D-D		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	プレドニゾロン：60mg/m ² 分3 day1-7 以降漸減	
備考	Ph+ALLに対する地固めD-D dasatinib + DNR-COP 療法 (56-65歳)	催吐リスク	ダサチニブ：100mg/body 分1 day1-	
		中	増悪時：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダウノルビシン		50mg/m ²	30分で点滴	day1
シクロホスファミド		500mg/m ²	60分で点滴	day1
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1

レジメン名	【臨】 JSCT Ph+ 56-65歳 D-C1(C2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	ダサチニブ：100mg/body 分1 day1-	
備考	Ph+ALLに対する地固めD-C1(C2) dasatinib + MTX 大量療法 (56-65歳)	催吐リスク	増悪時：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14	
		中	30mg/body 分1 day15- MRD陰性確認でき次第：	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15
メトトレキサート		150mg/m ²	30分で点滴	day1,15
メトトレキサート		1350mg/m ²	23.5時間で点滴	day1,15
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1,15
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注	day1,15

レジメン名	【臨】 JSCT Ph- 36-55歳 C-1(C-2)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療 プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	【髄注】	
備考	Ph-ALLに対する地固めC-1(C-2) CNS予防 (36-55歳)	催吐リスク	メトトレキサート：15mg/body 髄注 day1,15	
		中	デキサメタゾン：3.3mg/body 髄注 day1,15	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15
メトトレキサート		200mg/m ²	30分で点滴	day1,15
メトトレキサート		1800mg/m ²	23.5時間で点滴	day1,15
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./m ²	4時間で点滴	day2,16

レジメン名	【臨】 JALSG Ph(-)B-ALL213 寛解導入 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する寛解導入療法。	1コース	内服・その他内容	
		29日		
備考	JALSG Ph(-)B-ALL213 寛解導入のレジメンと併用する。	催吐リスク		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day8,15
シタラビン		40mg/body	髄注	day8,15

レジメン名	【臨】 JALSG Ph+ALL213 維持		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病に対する維持療法。	1コース	内服・その他内容	
		28日	プレドニゾロン 60mg/m ² 経口分3 day1-7(8-14で漸減)	
備考		催吐リスク		
		最小	30mg/m ² day8-9, 15mg/m ² day10-11, 5mg/m ²	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1

レジメン名	HAM (ALL再寛解導入)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	急性リンパ性白血病に対する汎用化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考		催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シタラビン①		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-4
ミトキサントロン		10mg/m ²	30分で点滴	day2-5
シタラビン②		2000mg/m ²	3時間で点滴 ①と②は12時間空ける	day1-4

レジメン名	ブリナツモマブ		癌種	急性リンパ性白血病
解説	再発または難治性のB細胞性急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容	
		42 (84) 日		
備考	導入療法：42日最大5サイクル 維持療法：84日最大4サイクル	催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ブリナツモマブ		9μg/m ² (5μg/m ²)	24時間で点滴	day1-7
ブリナツモマブ		28μg/m ² (15μg/m ²) 体重48kg未満の場合 () 内	24時間で点滴	day8-28

レジメン名		イノツズマブ オゾガマイシン		癌種	急性リンパ性白血病
解説	CD22陽性の急性リンパ白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容		
		21-28日			
備考	前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
イノツズマブ オゾガマイシン		0.8mg/m ²	1時間で点滴		day1
イノツズマブ オゾガマイシン		0.5mg/m ²	1時間で点滴		day8,15,2c以降day1※ (※:寛解が得られた場合)

レジメン名		【臨】 JALSG Ph+ALL213 地固めC2		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph+急性リンパ性白血病に対する地固め療法。	1コース	内服・その他内容		
		29日			
備考		催吐リスク	プレドニゾン 60mg/m ² 経口分3 day1-7(8-14で漸減) 30mg/m ² day8-9, 15mg/m ² day10-11, 5mg/m ²		
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
シクロホスファミド		1200mg/m ²	3時間で点滴		day1
ダウノルビシン		45mg/m ²	1時間で点滴		day1
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴		day1

レジメン名		【臨】 JALSG Ph(-)B-ALL213 寛解導入		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する寛解導入療法。	1コース	内服・その他内容		
		29日			
備考	JALSG Ph(-)B-ALL213 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク	プレドニゾン 60mg/m ² 経口分3 day1-28 day29以降漸減し7日間で中止 ※45-60歳でday22以降、60-65歳でday15以降漸減		
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
シクロホスファミド		1200mg/m ²	3時間で点滴		day8
ダウノルビシン		45mg/m ²	1時間で点滴		day8-10
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴		day8,15,22,29
L-アスパラギナーゼ		5000K.U./m ²	4時間で点滴		day15から隔日で29まで

レジメン名		【臨】 JSCT Ph+ 56-65歳 P-B2		癌種	急性リンパ性白血病
解説	JSCT特定臨床研究成人急性リンパ性白血病に対する治療プロトコールの1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考	Ph+ALLに対する地固めP-B2 ponatinib + Ara-C 大量療法 (56-65歳)	催吐リスク	MRD陽性：ポナチニブ：45mg/body 分1 day1-14 30mg/body 分1 day15- ダサチニブ不耐容：ポナチニブ：30mg/body 分1 MRD陰性確認でき次第、		
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
シタラビン		1500mg/m ²	3時間で点滴		day1-4
メトトレキサート		15mg/body	髄注		day1
デキサメタゾン		3.3mg/body	髄注		day1

レジメン名		【臨】 JALSG RR-ALL214 (CLEC)		癌種	急性リンパ性白血病
解説	急性リンパ性白血病に対する治療	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
クロファラビン		20-30mg/m ²	120分で点滴		day1-5
シクロホスファミド		200-440mg/m ²	60分で点滴		day1-5
エトポシド		50-100mg/m ²	90分で点滴		day1-5

レジメン名		【臨】 JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C1C4		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する地固め療法。	1コース	内服・その他内容		
		4日			
備考	JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C1C4 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン①		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-3	
エトポシド		100mg/m ²	1時間で点滴	day1-3	
シタラビン②		2000mg/m ²	3時間で点滴	day1-3	
L-アスパラギナーゼ		10000K.U./m ²	4時間で点滴 ②は①と12時間空ける	day4	

レジメン名		【臨】 JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C1C4 髄注		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する地固め療法(髄注)。	1コース	内服・その他内容		
		4日			
備考	JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C1C4のレジメンと併用する。	催吐リスク			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		15mg/body	髄注	day1	
シタラビン		40mg/body	髄注	day1	

レジメン名		【臨】 JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C2C5		癌種	急性リンパ性白血病
解説	Ph-急性リンパ性白血病に対する地固め療法。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考	JALSG PH(-)B-ALL213 地固め C2C5 髄注のレジメンと併用する。	催吐リスク	メルカプトプリン 25mg/m ² 経口分1 day1-21		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ビンクリスチン		1.3mg/m ²	10分で点滴	day1,15	
メトトレキサート		3000mg/m ²	24時間で点滴	day1,15	
L-アスパラギナーゼ		10000K.U./m ²	4時間で点滴	day3,17	

レジメン名		オフアツムマブ [®] (CD20陽性CLL)		癌種	慢性リンパ性白血病
解説	再発または難治性のCD20陽性慢性リンパ性白血病に用いる。	1コース	内服・その他内容		
備考	1-8回まで1週間隔、4-5週休薬後、12回まで4週間隔。	催吐リスク	アセトアミノフェン 400mg 投与30分-2時間前 レボセチリジン塩酸塩 5mg 投与30分-2時間前		
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
オフアツムマブ [®]		300mg/body 2000mg/body	4時間以上かけて点滴		

レジメン名		フルダラビン		癌種	慢性リンパ性白血病
解説	慢性リンパ性白血病の標準治療。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考		催吐リスク			
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
フルダラビン		25mg/m ²	30分で点滴	day1-5	

レジメン名	R+ベネトクラクス		癌種	慢性リンパ性白血病	
解説	再発又は難治性の慢性リンパ性白血病の治療として適応が認められたため	1コース	内服・その他内容		
		最大6サイクル	ベネトクラクス 漸増期：20mg/b【1週目】，50mg/b【2週目】，100mg/b【3週目】，200mg/b【4週目】，400mg/b【5週目】 維持期：400mg/b【6週目-】 経口		
備考	リツキシマブに対し、前投薬(ロキソプロフェンNa・ミソプロストール・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
リツキシマブ(初回)		375mg/m ²	2-3時間で点滴	day1(初回)	
リツキシマブ(2回目以降)		500mg/m ²	2-3時間で点滴	day1(2回目以降)	

レジメン名	モガムリズマブ（CCR4陽性のATL,PTCL,CTCL）		癌種	T細胞リンパ腫	
解説	CCR4陽性のATL・PTCL・CTCLに対する新規治療法。	1コース	内服・その他内容		
		7日			
備考	8コース連続。他の抗がん剤と併用する場合は14日毎。前投薬(アセトアミノフェン・クロルフェニラミン)を行う。	催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
モガムリズマブ		1mg/kg	120分で点滴	day1	

レジメン名	ダリナパルシン		癌種	T細胞リンパ腫	
解説	再発または難治性の末梢性T細胞リンパ腫に対する治療	1コース	内服・その他内容		
		21日			
備考		催吐リスク			
		最小			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダリナパルシン		300mg/m ²	60分で点滴	day1-5	

レジメン名	モガリズマブ（CTCL）		癌種	T細胞リンパ腫	
解説	CCR4陽性の皮膚T細胞リンパ腫に対する新規治療法。	1コース	内服・その他内容		
		14日			
備考	1週間間隔で5回投与後、2週間隔	催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
モガリズマブ		1mg/kg	2時間で点滴	day1,8,15,22,29,43…	

レジメン名	AMP（モガリズマブ+LSG-15）		癌種	成人T細胞白血病・リンパ腫	
解説	成人T細胞白血病/リンパ腫の標準治療であるため。	1コース	内服・その他内容		
		7日			
備考	VCAP-AMP-VECPを連続して行い1コース28日として、4コースまで実施する。	催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ドキソルビシン		30mg/m ²	30分で点滴	day8	
ラニムスチン		60mg/m ²	30分で点滴	day8	
モガリズマブ		1mg/kg	2時間で点滴	day14	

レジメン名		VECP（モガリズマブ+LSG-15）		癌種	成人T細胞白血病・リンパ腫	
解説	成人T細胞白血病/リンパ腫の標準治療であるため。	1コース	内服・その他内容			
		14日				
備考	VCAP-AMP-VECPを連続して行い1コース28日として、4コースまで実施する。	催吐リスク				
		中				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ビンデシン		2.5mg/m ²		10分で点滴		day15
エトポシド		100mg/m ²		60分で点滴		day15-17
カルボプラチン		250mg/m ²		2時間で点滴		day15
モガリズマブ		1mg/kg		2時間で点滴		C2,3day28 (C=コース)

レジメン名		LSG15【C】		癌種	成人T細胞白血病・リンパ腫	
解説	成人T細胞性白血病/リンパ腫の標準治療。	1コース	内服・その他内容			
		28日	プレドニゾロン 40mg/m ² 経口分1 day15-17			
備考	【A】を第1週、【B】を第2週、【C】を第3週に行う。	催吐リスク				
		中				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ビンデシン		2.4mg/m ²		10分で点滴		day15
エトポシド		100mg/m ²		60分で点滴		day15-17
カルボプラチン		250mg/m ²		120分で点滴		day15

レジメン名		LSG15【A】		癌種	成人T細胞白血病・リンパ腫	
解説	成人T細胞性白血病/リンパ腫の標準治療。	1コース	内服・その他内容			
		28日				
備考	【A】を第1週、【B】を第2週、【C】を第3週に行う。	催吐リスク				
		高				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ドキソルビシン		40mg/m ²		30分で点滴		day1
シクロホスファミド		350mg/m ²		120分で点滴		day1
ビンクリスチン		1mg/m ²		10分で点滴		day1

レジメン名		VCAP（モガリズマブ+LSG-15）		癌種	成人T細胞白血病・リンパ腫	
解説	成人T細胞白血病/リンパ腫の標準治療であるため。	1コース	内服・その他内容			
		7日				
備考	VCAP-AMP-VECPを連続して行い1コース28日として、4コースまで実施する。	催吐リスク				
		高				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ドキソルビシン		40mg/m ²		30分で点滴		day1
シクロホスファミド		350mg/m ²		120分で点滴		day1
ビンクリスチン		1mg/m ²		10分で点滴		day1
モガリズマブ		1mg/kg		2時間で点滴		C1day2 (C=コース)

レジメン名		LSG15【B】		癌種	成人T細胞白血病・リンパ腫	
解説	成人T細胞性白血病/リンパ腫の標準治療。	1コース	内服・その他内容			
		28日	プレドニゾロン 40mg/m ² 経口分1 day8			
備考	【A】を第1週、【B】を第2週、【C】を第3週に行う。	催吐リスク				
		中				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ドキソルビシン		30mg/m ²		30分で点滴		day8
ラニムスチン		60mg/m ²		30分で点滴		day8

レジメン名		ネララビン		癌種	T細胞急性リンパ性白血病、T細胞リンパ	
解説	T細胞リンパ芽球性リンパ腫、T細胞急性リンパ性白血病に対する治療法。	1コース	内服・その他内容			
		21日				
備考		催吐リスク				
		軽				
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール	
ネララビン		1500mg/m ²		2時間で点滴	day1,3,5	

レジメン名		SMILE		癌種	NK/T細胞リンパ腫	
解説	NK/T細胞リンパ腫に対し有効性のある治療法	1コース	内服・その他内容			
		28日				
備考		催吐リスク				
		中				
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール	
メトトレキサート		2000mg/m ²		6時間で点滴	day1	
イホスファミド		1500mg/m ²		2時間で点滴	day2-4	
エトポシド		100mg/m ²		2時間で点滴	day2-4	
L-アスパラギナーゼ		6000K.U./m ²		4時間で点滴	day8,10,12,14,16,18,20	

レジメン名		Flu-Bu2-ATG		癌種	移植前処置	
解説	ミニ移植において汎用されている移植前処置。	1コース	内服・その他内容			
			ブスルファンはday3は3回、day4は4回、day5は1回			
備考	day9に骨髄移植を行う。	催吐リスク	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリンは本投与前に試験			
		中	投与を行う。			
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール	
ブスルファン		0.8mg/kg		2時間で点滴	day3-5	
フルダラビン		30mg/m ²		30分で点滴	day1-6	
抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン		5mg/kg		12時間	day7	
		10mg/m ²		静注	day10	
メトトレキサート		7mg/m ²		静注	day12,15	

レジメン名		Flu-Bu2-ATG（Bu1日1回）		癌種	移植前処置	
解説	ミニ移植において汎用されている移植前処置。	1コース	内服・その他内容			
			抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリンは本投与前に試験			
備考	day9に骨髄移植を行う。	催吐リスク	投与を行う。			
		中				
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール	
ブスルファン		3.2mg/kg		3時間で点滴	day3-4	
フルダラビン		30mg/m ²		30分で点滴	day1-6	
抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン		5mg/kg		12時間で点滴	day7	
		10mg/m ²		静注	day10	
メトトレキサート		7mg/m ²		静注	day12,15	

レジメン名		CY-Bu（Bu1日1回）		癌種	移植前処置	
解説	造血幹細胞移植に対しての移植前処置。ブスルフェクス1日1回投与法。	1コース	内服・その他内容			
備考	痙攣に対する予防としてブスルファン投与3日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。	催吐リスク				
		高				
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール	
シクロホスファミド		60mg/kg		2時間で点滴	day1-2	
ブスルファン		3.2mg/kg		3時間で点滴	day4-7	

レジメン名	BuTT（Bu 1日1回）（移植前処置）		癌種	移植前処置
解説	自家造血幹細胞移植に対しての適応が認められているため	1コース	内服・その他内容	
		6日	フェニトイン 300m/body 経口分3：ブスルファン投与3	
		催吐リスク	日前から終了2日後まで	
備考		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ブスルファン		3.2m/kg	3時間で点滴	day1-4
チオテパ		5m/kg	2時間で点滴	day5-6

レジメン名	Flu-Mel-ATG		癌種	移植前処置
解説	臍帯血移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
		6日		
		催吐リスク		
備考	day7を移植日とする。	中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
フルダラビン		25mg/m ²	30分で点滴	day1-4
メルファラン		70mg/m ²	60分で点滴	day4,5

レジメン名	CY-Flu		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植に対してのミニ移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
		催吐リスク		
備考		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		60mg/kg	2時間で点滴	day1-2
フルダラビン		25mg/m ²	30分で点滴	day3-7

レジメン名	Bu4-CY（移植前処置）		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植に対する汎用移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
		6日		
		催吐リスク		
備考	痙攣に対する予防としてブスルファン投与2日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。	高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day1-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day1-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day1-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day2-5
シクロホスファミド		60mg/kg	120分で点滴	day5-6

レジメン名	Flu-Bu4		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植に対する汎用移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
		5日		
		催吐リスク		
備考	痙攣に対する予防としてブスルファン投与2日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。	中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
フルダラビン		30mg/m ²	30分で点滴	day1-5
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day1-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day1-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day2-5
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴	day2-5

レジメン名	Flu-Bu（Bu1日1回）		癌種	移植前処置	
解説	造血幹細胞移植に対する移植前処置。ブスルフェクス1日1回投与法。	1コース	内服・その他内容		
備考	痙攣に対する予防としてブスルファン投与3日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。	催吐リスク 中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
フルダラビン		30mg/m ²	30分で点滴		day1-6
ブスルファン		3.2mg/kg	3時間で点滴		day2-5

レジメン名	CPA大量		癌種	移植前処置	
解説	末梢血幹細胞採取前の標準的化学療法の1つ。	1コース	内服・その他内容		
備考		催吐リスク 高			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
シクロホスファミド		2000mg/m ²	2時間で点滴		day1,2

レジメン名	Bu-CY（Bu1日1回）		癌種	移植前処置	
解説	造血幹細胞移植に対しての移植前処置。ブスルフェクス1日1回投与法。	1コース	内服・その他内容		
備考	痙攣に対する予防としてブスルファン投与3日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。	催吐リスク 高			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ブスルファン		3.2mg/kg	3時間で点滴		day1-4
シクロホスファミド		60mg/kg	2時間で点滴		day6-7

レジメン名	CY－Ara-C－TBI		癌種	移植前処置	
解説	造血幹細胞移植に対する汎用移植前処置。	1コース	内服・その他内容		
		4日			
備考		催吐リスク 高			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
シタラビン		3000mg/m ²	120分で点滴		day1-2
シタラビン		3000mg/m ²	120分で点滴 12時間空ける		day1-2

レジメン名	Flu-Bu2±TBI		癌種	移植前処置	
解説	造血幹細胞移植のミニ移植における汎用移植前処置。	1コース	内服・その他内容		
		6日			
備考	痙攣に対する予防としてブスルファン投与2日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。	催吐リスク 中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
フルダラビン		30mg/m ²	30分で点滴		day1-6
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴		day3-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴		day3-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴		day3-4
ブスルファン		0.8mg/kg	120分で点滴		day4-5

レジメン名		short-term MTX（移植後GVHD予防）		癌種	移植前処置
解説 備考	造血幹細胞移植時のGVHD予防の1つ。		1コース	内服・その他内容	
			6日		
			催吐リスク		
			最小		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/m ²		静注	day1
メトトレキサート		10mg/m ²		静注	day3,6

レジメン名		Flu+TBI(12Gy)+PTCy（移植前処置）		癌種	移植前処置		
解説 備考	造血幹細胞移植のハプロ移植患者における移植前処置		1コース	内服・その他内容			
			11日				
			催吐リスク				
			高	全身放射線照射(TBI):12Gy			
薬剤名		投与量				手技	投与スケジュール
フルダラビン		30mg/m ²				30分	day1-3
シクロホスファミド		50mg/kg		120分	day10,11		

レジメン名		Flu-Bu4-Mel（移植前処置）		癌種	移植前処置
解説 備考	造血幹細胞移植に対する汎用移植前処置。		1コース	内服・その他内容	
			6日		
			催吐リスク		
	痙攣に対する予防としてブスルファン投与2日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。		中		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
フルダラビン		30mg/m ²		30分で点滴	day1-6
ブスルファン		0.8mg/kg		2時間で点滴	day1 15,21時
ブスルファン		0.8mg/kg		2時間で点滴	day2-4 3,9,15,21時
ブスルファン		0.8mg/kg		2時間で点滴	day5 3,9時
メルファラン		40mg/m ²		1時間で点滴	day5,6

レジメン名		short-term MTX		癌種	移植前処置
解説 備考	造血幹細胞移植時のGVHD予防の1つ。		1コース	内服・その他内容	
			6日		
			催吐リスク		
			最小		
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
メトトレキサート		15mg/m ²		静注	day1
メトトレキサート		10mg/m ²		静注	day3,6,11

レジメン名		Flu-Mel-TBI		癌種	移植前処置		
解説 備考	造血幹細胞移植の移植前処置。		1コース	内服・その他内容			
			催吐リスク				
	day9に移植を行う。		中	TBI 2G/日（total 4G）移植day-2,-1			
薬剤名		投与量				手技	投与スケジュール
フルダラビン		25mg/m ²				30分で点滴	day1-5
アルケラン		80mg/m ²		60分で点滴	day6		

レジメン名	Flu-Bu4-Mel (Bu1日1回)		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植に対する汎用移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
		6日		
備考		催吐リスク		
	瘰癧に対する予防としてブスルファン投与2日前から2日後までフェニトイン100mg3錠分3で投与。	中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ブスルファン		3.2mg/kg	3時間で点滴	day1-4
フルダラビン		30mg/m ²	30分で点滴	day1-6
メルファラン		40mg/m ²	1時間で点滴	day5,6
レジメン名	Flu-Bu2±TBI(Bu1日1回)		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植のミニ移植における汎用移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
		6日		
備考		催吐リスク		
	day9に骨髄移植を行う。	中	TBI 2-4Gy 移植day-1	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
フルダラビン		30mg/m ²	30分で点滴	day1-6
ブスルファン		3.2mg/kg	3時間で点滴	day3,4
レジメン名	BUCYE (Bu1日1回)		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植に対しての移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
備考		催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ブスルファン		3.2mg/kg	3時間で点滴	day1-4
エトポシド		100mg/m ²	2時間で点滴 (12時間毎)	day3,4,5(1回-2回-1回)
シクロホスファミド		50mg/kg	2時間で点滴	day5,6
レジメン名	VP-16大量		癌種	移植前処置
解説	末梢血幹細胞採取前の標準的化学療法の一つ。	1コース	内服・その他内容	
備考		催吐リスク		
		軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
エトポシド		500mg/m ²	3時間で点滴	day1-3
レジメン名	induction chemotherapy1 high-dose MTX (BUCYE)		癌種	移植前処置
解説	悪性リンパ腫自家移植前処置の一つ。	1コース	内服・その他内容	
		14日		
備考		催吐リスク		
	5コース繰り返す。	中	※メトトレキサートは7g/bodyを上限とする。	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
メトトレキサート		3500mg/m ² ※	120分で点滴	day1

レジメン名	induction chemotherapy2 high-dose Ara-C (BUCYE)		癌種	移植前処置
解説	悪性リンパ腫自家移植前処置の一つ。	1コース	内服・その他内容	
		28日		
備考	induction chemotherapy1の5コース目終了後実施。2コース繰り返す。	催吐リスク		
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シタラビン		3000mg/m ²	120分で点滴	day1

レジメン名	TBI+Flu-CY-ATG（移植前処置）		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植に対しての移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
			TBI 2Gy day6	
備考		催吐リスク	抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリンは本投与前に試験投与を行う。	
		中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
フルダラビン		30mg/m ²	30分で点滴	day1-4
シクロホスファミド		25mg/kg	2時間で点滴	day1-4
抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン		1.25mg/kg	12時間で点滴	day3-4

レジメン名	M-BEAM		癌種	移植前処置
解説	ハイリスクの悪性リンパ腫における自家移植の前処置。	1コース	内服・その他内容	
備考	day7に移植を行う。	催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ラムスチン		300mg/m ²	60分で点滴	day1
エトポシド①②（12時間間隔で1日2回）		100mg/m ²	①60分、②180分で点滴	day2-5
		200mg/m ²	60分で点滴	day2-5
シタラビン①②（12時間間隔で1日2回）		140mg/m ²	30分で点滴	day6

レジメン名	CY-TBI		癌種	移植前処置
解説	急性白血病に対する造血幹細胞移植の前処置の1つ。	1コース	内服・その他内容	
			TBI 1回2Gy1日2回 移植day－3-day－1	
備考	移植はday7に行う。	催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
シクロホスファミド		30mg/kg	2時間で点滴	day1,2

レジメン名	Flu+Bu4+TBI(4Gy)+PTCy（移植前処置）		癌種	移植前処置
解説	造血幹細胞移植のハプロ移植患者における移植前処置	1コース	内服・その他内容	
		11日	全身放射線照射(TBI):4Gy	
備考		催吐リスク		
		高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ブスルファン		3.2mg/kg	180分	day1-4
フルダラビン		30mg/m ²	30分	day1-5
シクロホスファミド		50mg/kg	120分	day10,11

レジメン名	BUCYE（BU：1日4回）（移植前処置）		癌種	移植前処置
解説 備考	造血幹細胞移植に対しての移植前処置。	1コース	内服・その他内容	
		催吐リスク 高		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ブスルファン 1日4回		0.8mg/kg × 4回	2時間で点滴 × 4回	day1-4
エトポシド		100mg/kg	2時間で点滴（12時間毎）	day3,4,5（1回-2回-1回）
シクロホスファミド		600mg/kg	2時間で点滴	day5,6

レジメン名	DVRd療法（皮下注）（移植適応MM）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	造血幹細胞移植の適応となる未治療の多発性骨髄腫に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容 レナデックス錠：40mg 内服 【<1-6C>day1,2,3,4,9,10,11,12】 ・レナデックス錠：20mg 内服 【<1C>day8】	
		28日		
		催吐リスク 軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダラキューロ		1800mg/body	皮下注	<1-2C>day1,8,15,22 <3-6C>day1,15 <7C以降>day1
ベルケイド		1.3mg/m ²	皮下注	<1-6C>day1,4,8,11

レジメン名	高用量VTD 皮下注		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容 デキサメタゾン 40mg 経口 分1 day1-4,9-12 サリドマイド 100mg 経口 分1 day1-21	
		21日		
		催吐リスク 軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	day1,4,8,11

レジメン名	CBD（再発・難治性多発性骨髄腫）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発・難治性多発性骨髄腫に対する治療法。	1コース	内服・その他内容 シクロホスファミド 50mg 経口 分1 day1-21	
		28日		
		催吐リスク 中		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
デキサメタゾン		3.3-33mg/m ²	30分で点滴	day1,2,8,9,15,16
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	静注	day1,8,15

レジメン名	DPd 皮下注		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容 ポマリドミド 4mg/body 経口 分1 day1-21 デキサメタゾン 40mg/body 経口 分1 day1,8,15,22	
		28日		
		催吐リスク 最小		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ		1800mg/body	3-5分で皮下注	C1-2day1,8,15,22 C3-6day1,15 C7-day1 （C=サイクル）

レジメン名		イサツキシマブ+Kd		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	デキサメタゾン 20mg/body 点滴（又は経口） 分1		
		催吐リスク	day1,2,8,9,15,16,22,23		
		中			
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
イサツキシマブ		10mg/kg		2-3時間で点滴	C1day1,8,15,22 C2以降day1,15
カルフィルゾミブ		20mg/m ²		30分で点滴	C1day1,2
カルフィルゾミブ		56mg/m ²		30分で点滴	C1day8,9,15,16 C2以降day1,2,8,9,15,16

レジメン名		エルラナタマブ療法（皮下注）（多発性骨髄腫）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発難治性の多発性骨髄腫（2nd以降対象）	1コース	内服・その他内容		
		7日			
		催吐リスク			
		最小			
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
エルラナタマブ		12mg/body		皮下注	<1C> day1
エルラナタマブ		32mg/body		皮下注	<1C> day4
エルラナタマブ		76mg/body		皮下注	<2-24C> day1

レジメン名		IsaVR d 療法(75歳未満)		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		5-17コース目	<1-4コース目>		
		催吐リスク	レブラミド：25m g 経口【day1-14,day22-35】		
		軽		レナデックス：20m g 経口	
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
ベルケイド		1.3mg/m ²		皮下注	<1-4コース目>
サークリサ		10mg/kg		2-3時間程度	・ベルケイド： C1day1,4,8,11,22,25,29,3 2 C2- C4day1,4,8,11,22,25,29,3

レジメン名		イサツキシマブ+DEX		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	デキサメタゾン 40mg/body 点滴（又は経口） 分1		
		催吐リスク	day1,8,15,22		
		軽			
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
イサツキシマブ		20mg/kg		2-3時間で点滴	C1day1,8,15,22 C2以降day1,15 （C=サイクル）

レジメン名		イサツキシマブ単独		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量		手技	投与スケジュール
イサツキシマブ		20mg/kg		2-3時間で点滴	C1day1,8,15,22 C2以降day1,15 （C=サイクル）

レジメン名		テクリスタマブ療法		癌種	多発性骨髄腫	
解説	再発又は難治性の多発性骨髄腫に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容			
			漸増期：1コース14日			
備考	免疫調節役、プロテアソーム阻害剤及び抗CD38モノクローナル抗体製剤を含む少なくとも3つの標準的な治療が	催吐リスク	継続投与期：1コース7日（部分奏功以上が24週間以上持続している場合、1コース14日）			
		最小				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
テクベイリ30mg		0.06mg/kg		皮下注射		漸増期day1
テクベイリ30mg		0.3mg/kg		皮下注射		漸増期day4
テクベイリ153mg		1.5mg/kg		皮下注射		漸増期day8、継続維持期day1

レジメン名		イサツキシマブ+Pd		癌種	多発性骨髄腫	
解説	再発又は難治性骨髄腫に対する抗腫瘍効果が認められるレジメンの一つ。	1コース	内服・その他内容			
		28日	デキサメタゾン 40mg/body 経口分1 2C目以降day8,22			
備考		催吐リスク	ボマリドミド 4mg/body 経口分1 day1-21			
		軽	C=コース			
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
イサツキシマブ（1コース目）		10mg/kg		約2-3時間で点滴		day1,8,15,22
イサツキシマブ（2コース目以降）		10mg/kg		約2-3時間で点滴		day1,15

レジメン名		IsaVRd療法(75歳以上)		癌種	多発性骨髄腫	
解説	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容			
		1-17コース目	〈1-4コース目〉			
備考		催吐リスク	レブラミド：25mg 経口【day1-14,day22-35】			
		軽	レナデックス：20mg 経口【C1day4,11,25,32 C2-			
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ベルケイド		1.3mg/m ²		皮下注		〈1-4コース目〉
サークリサ		10mg/kg		2-3時間程度		・ベルケイド： C1day1,4,8,11,22,25,29,32 C2- C4day1,4,8,11,22,25,29,32

レジメン名		VTD（静注）		癌種	多発性骨髄腫	
解説	多発性骨髄腫に対する化学療法。	1コース	内服・その他内容			
		28日	デキサメタゾン 20mg 経口 分1 day1,8,15			
備考		催吐リスク	サリドマイド 50mg 経口 分1 day1-21			
		最小				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²		静注		day1,8,15

レジメン名		ボルテゾミブ 静注 週2		癌種	多発性骨髄腫	
解説	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容			
		24日	デキサメタゾン 20mg 経口 分1 day2,9,16			
備考		催吐リスク				
		最小				
薬剤名		投与量		手技		投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²		静注		day1,4,8,11

レジメン名		Once Weekly Kd		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療法の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	デキサメタゾン 40mg/body 経口分1 day1,8,15,22		
		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
カルフィルゾミブ		20mg/m ²	30分で点滴	1C目day1	
カルフィルゾミブ		70mg/m ²	30分で点滴	1C目day8,15,2C目1,8,15 C=サイクル	

レジメン名		DLd 皮下注 未治療		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	レナリドミド 25mg/body 経口 分1 day1-21		
		催吐リスク	デキサメタゾン 40mg/body 経口 分1 day1,8,15,22		
過敏症予防のため必ず前投薬(ジフェンヒドラミン・アセトアミノフェン・ファモチジン・ステロイド)を行う。		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ		1800mg/body	3-5分で皮下注	C1-2day1,8,15,22 C3-6day1,15 C7-day1 (C=サイクル)	

レジメン名		DLd 皮下注 2nd以降		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	レナリドミド 25mg/body 経口 分1 day1-21		
		催吐リスク	デキサメタゾン 20mg/body/週 経口 分1 day1,2,8,9,15,16,22,23		
過敏症予防のため必ず前投薬(ジフェンヒドラミン・アセトアミノフェン・ファモチジン・ステロイド)を行う。		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ		1800mg/body	3-5分で皮下注	C1-2day1,8,15,22 C3-6day1,15 C7-day1 (C=サイクル)	

レジメン名		エロツズマブ+Pd		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	デキサメタゾン 28mg/body 経口分1 day1,8,15,22		
		催吐リスク	ポマリドミド 4mg/body 経口分1 day1-21		
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
エロツズマブ		10mg/kg	約2-3時間で点滴	1,2C目day1,8,15,22 3C目以降day1 C=サイクル	

レジメン名		DBd 皮下注		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
過敏症予防のため必ず前投薬(ジフェンヒドラミン・アセトアミノフェン・ファモチジン・ステロイド)を行う。		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ		1800mg/body	3-5分で皮下注	C1-3day1,8,15,C4-day1	
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	C1-8day1,4,8,11 (C=サイクル)	

レジメン名		DCd 皮下注		癌種	多発性骨髄腫
解説	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
備考	過敏症予防のため必ず前投薬(ジフェンヒドラミン・アセトアミノフェン・ファモチジン・ステロイド)を行う。	催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ		1800mg/body	3-5分で皮下注	C1-2day1,8,15,22 C3-6day1,15,C7-day	
カルフィルゾミブ		20mg/m ²	30分で点滴	C1day1,2	
カルフィルゾミブ		56mg/m ²	30分で点滴	C1day8,9,15,16 C2以降1,2,8,9,15,16	

レジメン名		RVD lite (4投1休)		癌種	多発性骨髄腫
解説	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		35日	レナリドミド 15mg/body 経口分1 day1-21		
備考	10-15サイクル目では1コース28日とする	催吐リスク	デキサメタゾン 40mg/body 経口分1 1-9サイクル目		
		軽	day1,2,8,9,15,16,22,23 76歳以上：day1,8,15,22		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	day1,8,15,22 10-15サイクル目day1,15	

レジメン名		低用量VTD 皮下注		癌種	多発性骨髄腫
解説	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	デキサメタゾン 20mg 経口 分1 day1,8,15		
備考		催吐リスク	サリドマイド 50mg 経口 分1 day1-21		
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	day1,8,15	

レジメン名		CBD 皮下注		癌種	多発性骨髄腫
解説	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日	デキサメタゾン 20mg 経口 分1 day1,2,8,9,15,16		
備考		催吐リスク	シクロホスファミド 50mg 経口 分1 day1-21		
		中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	day1,8,15	

レジメン名		DBd		癌種	多発性骨髄腫
解説	再発または難治の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		21日	デキサメタゾン 20mg/body 経口分1 サイクル1-3		
備考	9サイクル以降は28日	催吐リスク	day2,4,5,9,11,12サイクル4-8day2,4,5,8,9,11,12		
		軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダラツムマブ		16mg/kg	点滴	サイクル1-3day1,8,15	
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	サイクル4-day1 day1,4,8,11	

レジメン名		ボルテゾミブ 皮下注 週2		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。静注と比較し、効果は同等であり副作用発現が低減するとされている。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		軽			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注		1,4,8,11

レジメン名		VAD（多発性骨髄腫）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ドキシソルピシン		9mg/m ²	24時間で点滴		day1-4
ビンクリスチン		0.4mg/body	24時間で点滴		day1-4

レジメン名		ボルテゾミブ 静注 週1		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		最小	デキサメタゾン 20mg 経口 分1 day2,9,16		
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	静注		day1,8,15

レジメン名		VTD-PACE		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		21日			
		催吐リスク			
		高	サリドマイド 200mg/body 経口分1 day1-4 デキサメタゾン 40mg/body 経口分1 day1-4		
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ボルテゾミブ		1mg/m ²	皮下注		day1,4,8,11
シスプラチン		10mg/m ²	24時間持続静注		day1-4
ドキシソルピシン		10mg/m ²			
シクロホスファミド		400mg/m ²			
エトポシド		40mg/m ²	24時間持続静注		day1-4

レジメン名		ERd		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		軽	レナリドミド 25mg/body 経口 分1 day1-21 デキサメタゾン 28mg/body 経口 分1 1-2サイクル目 day1,8,15,22 3サイクル目以降day1,15		
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
エロツズマブ		10mg/kg	2-3時間で点滴		1,2サイクル目 day1,8,15,22 3サイクル目以降day1,15

レジメン名	VRD 維持（多発性骨髄腫）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。VRD寛解療法8コース後奏効患者に対して維持療法を行う。	1コース	内服・その他内容	
		21日	レナリドミド 25mg/body 経口 分1 day1-14	
		催吐リスク 軽	デキサメタゾン 12mg/body 経口 分1 day1,2,8,9	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	day1-8

レジメン名	VRD 寛解（多発性骨髄腫）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容	
		21日	レナリドミド 25mg/body 経口 分1 day1-21	
		催吐リスク 軽	デキサメタゾン 【※】経口 分1 day1,8,15,22 ※：デキサメタゾンは(1-4コース目)40mg/body,	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	day1,4,8,11

レジメン名	ボルテゾミブ 皮下注 週1		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	多発性骨髄腫の標準的治療の1つ。静注と比較し、効果は同等であり副作用発現が低減するとされている。	1コース	内服・その他内容	
		35日		
		催吐リスク 軽		
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	1,8,15,22

レジメン名	KRd（再発又は難治性多発性骨髄腫）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	レナリドミド 25mg/body 経口 分1 day1-21	
		催吐リスク 軽	デキサメタゾン 40mg/body 経口 分1 day1,8,15,22	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
カルフィルゾミブ		20mg/m ²	30分で点滴	1サイクル目day1,2
カルフィルゾミブ		27mg/m ²	30分で点滴	2-12サイクル目 day1,2,8,9,15,16 13サイクル目以降 day1,2,15,16

レジメン名	Kd（多発性骨髄腫）		癌種	多発性骨髄腫
解説 備考	再発又は難治性の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。	1コース	内服・その他内容	
		28日	デキサメタゾン 20mg 経口分1	
		催吐リスク 軽	day1,2,8,9,15,16,22,23	
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール
カルフィルゾミブ		20mg/m ²	30分で点滴	1サイクル目day1,2
カルフィルゾミブ		56mg/m ²	10分で点滴	1サイクル目day8,9,15,16 2サイクル目以降 day1,2,8,9,15,16

レジメン名	MEL		癌種	多発性骨髄腫	
解説備考	多発性骨髄腫の標準的な自家移植前処置の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		催吐リスク 中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
メルファラン		100mg/m ²	60分で点滴	day1,2	

レジメン名	VRd（3投1休）		癌種	多発性骨髄腫	
解説備考	多発性骨髄腫の治療法のひとつ。3投1休で投与	1コース	内服・その他内容 デキサメタゾン 20mg/body 経口分1 day1,2,8,9,15,16 レナリドミド 10mg/body 経口分1 day1-21		
		28日			
		催吐リスク 軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注	day1,8,15	

レジメン名	DLd		癌種	多発性骨髄腫	
解説備考	再発または難治の多発性骨髄腫の治療法のひとつ。 過敏症予防のため必ず前投薬(ジフェンヒドラミン・アセトアミノフェン・ファモチジン・ステロイド)を行う。	1コース	内服・その他内容 レナリドミド 25mg/body 経口分1 day1-21 デキサメタゾン 20mg/body 経口分1 サイクル 1,2day2,9,16,23 サイクル3-day2,8,9,16,22,23		
		28日			
		催吐リスク 軽			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
ダラツムマブ		16mg/kg	点滴	C1,2day1,8,15,22 C3-6day1,15 C7-day1 (C=サイクル)	

レジメン名	【臨】 JALSG MDS212 アザシチジン 5日間（点滴静注）		癌種	骨髄異形成症候群	
解説備考	骨髄異形成症候群（MDS)の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク 中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
アザシチジン		75mg/m ²	10分で点滴	day1-5	

レジメン名	CAG（骨髄異形成症候群(MDS)及びMDS由来急性骨髄性白血		癌種	骨髄異形成症候群	
解説備考	骨髄異形成症候群（MDS)及びMDS由来急性骨髄性白血病の標準治療。	1コース	内服・その他内容		
		14日			
		催吐リスク 中			
薬剤名		投与量	手技	投与スケジュール	
シタラビン		10mg/m ²	12時間毎に皮下注	day1-14	
アクリルピシン		14mg/m ²	30分で点滴	day1-4	

レジメン名		アザシチジン点滴静注（骨髄異形成症候群）		癌種	骨髄異形成症候群
解説 備考	骨髄異形成症候群（MDS）の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
アザシチジン		75mg/m ²	10分で点滴		day1-7

レジメン名		アザシチジン皮下注（骨髄異形成症候群）		癌種	骨髄異形成症候群
解説 備考	骨髄異形成症候群（MDS）の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
アザシチジン		75mg/m ²	皮下注		day1-7

レジメン名		【臨】 JALSG MDS212 アザシチジン 5日間（皮下注）		癌種	骨髄異形成症候群
解説 備考	骨髄異形成症候群（MDS）の標準的治療の1つ。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中			
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
アザシチジン		75mg/m ²	皮下注		day1-5

レジメン名		DcyBorD		癌種	全身性ALアミロイドーシス
解説 備考	全身性ALアミロイドーシスに対し効果が認められるため。	1コース	内服・その他内容		
		28日			
		催吐リスク			
		中	デキサメタゾン 20mg/body 経口 分1 C1-		
薬剤名		投与量	手技		投与スケジュール
ダラツムマブ・ボルヒアルロニダーゼ		1800mg/body	3-5分で皮下注		C1,2day1,8,15,22 C3-6day1,15 C7-day1
ボルテゾミブ		1.3mg/m ²	皮下注		C1-6day1,8,15,22 (C=サイクル)